

令和6年度

# 学習の手引



## 仙台市立岩切中学校

年 組 番・氏名

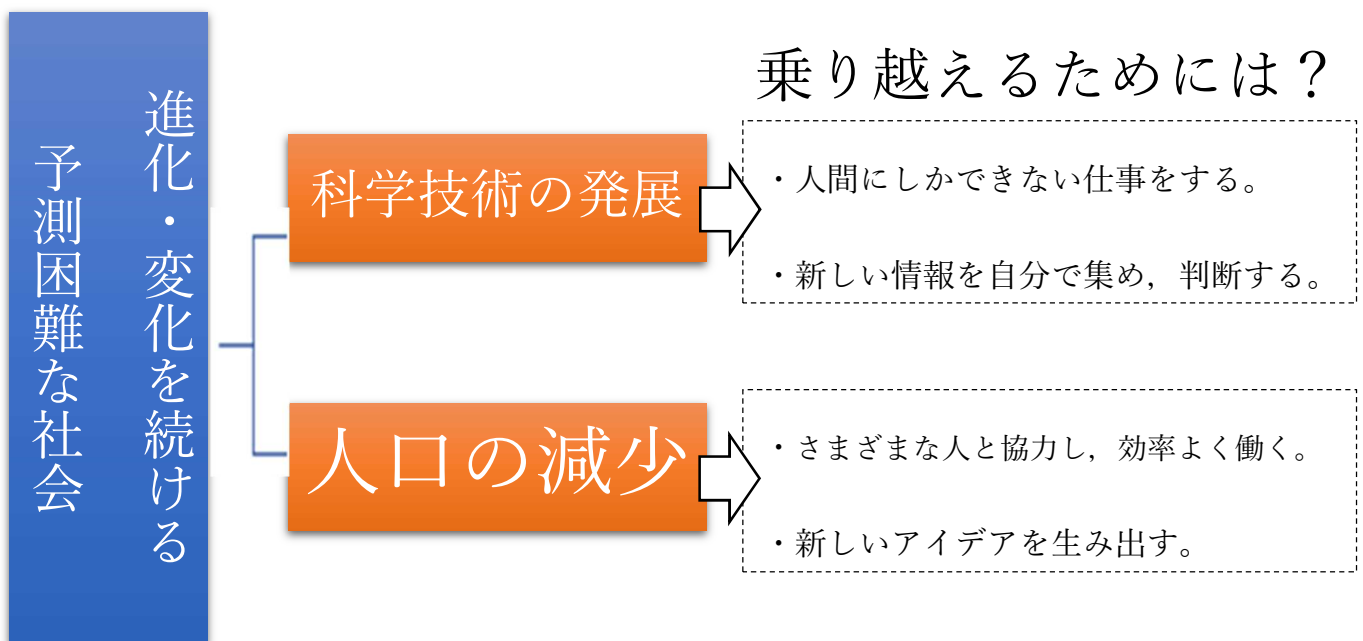
# 学 習 の 手 引 ・ 目 次

未来を生き抜くために .....	3
1 国 語 科 .....	7
2 社 会 科 .....	10
3 数 学 科 .....	14
4 理 科 科 .....	18
5 英 語 科 .....	22
6 音 楽 科 .....	27
7 美 術 科 .....	31
8 保 健 体 育 科 .....	35
9 技 術・家 庭 科 .....	39
10 道 徳 .....	44

# ～未来を生き抜くために学ぶ3年間～

みなさんが大人になり，社会の一員として働き出すころ，どんな世の中になっているのでしょうか。

AIをはじめとする科学技術の発展や人口の減少などにより，「変化・進化を続ける予測ができない社会」になるだろうといわれています。次々と新しい事が起き，求められる仕事の内容や自分たちの生活が変化し続ける社会です。



中学校3年間での学びは，みなさんが『未来を生き抜くための力』を身に付けるためにあります。未来の自分が幸せに生活している姿を想像しながら，自分のために，一生懸命学んでいきましょう。

# ～学校教育目標（みんなで目指す理想の姿）～

## 主体的に取り組む生徒

目標とその達成のための計画を立て、挑戦する。

自分の挑戦を振り返り、次の目標に向けて取組を改善する。

自分にとって一番いい方法は何かを考え、選び、行動する。

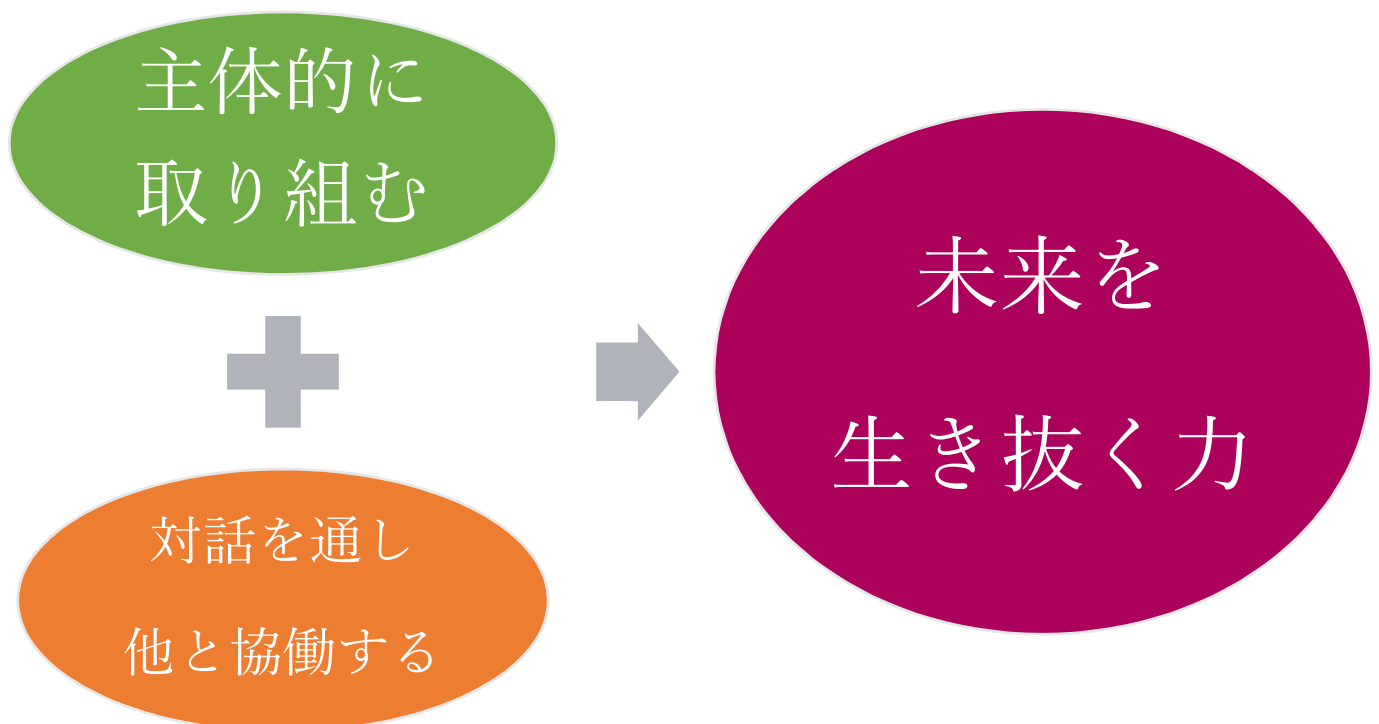
あらゆることを自分事だと考え、自分の行動に責任を持つ。

## 対話を通し他と協働する生徒

お互いに自分の考えを発信し、自分と相手との違いに気付き、受け入れられる。

相手を理解するために、自分の考えを理解してもらうために、よく聞き、よく話す。

仲間と共に、考えを広げたり、新しいアイデアをつくったり、課題を解決したりする。



## ～評価について～

授業の中で、3つの観点「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について、それぞれに評価規準を設け、さまざまな材料をもとに、達成率に応じた C～A+の5段階で評価します。また、観点別学習状況の達成率を点数に換算し、その合計に応じて評定を1～5の5段階で通知します。

### ① 観点別学習状況の達成率

観点別達成率 (未満)(以上)	観点	点数
100 ～ 85%	A+	9点
84 ～ 70	A	8点
69 ～ 35	B	5点
34 ～ 10	C+	2点
9 ～ 0	C	1点

### ② 観点別評価と評定の関係

合計	評定
27～25	5
24～19	4
18～12	3
11～6	2
5～3	1

3観点の点数の合計

また、1年間の学習評価の流れについては、次のページの図を参考にしてください。

# 1年間の学習評価の流れ

授業内の活動や小テスト等で、  
細かく学習内容を振り返ります。

単元  
テスト

単元  
テスト

単元  
テスト

単元  
テスト

実  
力  
テ  
ス  
ト

実  
力  
テ  
ス  
ト

4月

3月

- ・単元(学習内容のまとめ)ごとに行います。
  - ・短期的な学習の積み重ね、単元ごとの到達度を評価します。
- ※教科ごとにテストの実施回数は異なります。

- ・自分の実力を試し、これまでの取組を振り返るための機会とします。
- ※評定にかかる評価には加えません。

# 国語科 学習の手引

## 1 国語科で身に付けたい力

### (1) 知識・技能について

- ① 国語の特徴や文法，漢字などの知識
- ② 古文・漢文など我が国の伝統的な国語文化に対する理解
- ③ 毛筆や硬筆を用いて字を正しく整えて速く書く技能

### (2) 思考・判断・表現について

#### ① 話すこと・聞くこと

- 1) 目的や場面に応じて話し方を工夫し，表現する力
- 2) 目的や場面に応じて話を聞き，情報を整理する力
- 3) 目的や場面に応じて話し合いを進め，結論を見いだす力

#### ② 書くこと

- 1) 目的に応じて自分の考えや感想を豊かに表現する力
- 2) 自分の考えを言葉や文章でまとめ，筋道立てて表現する力

#### ③ 読むこと

- 1) 目的に応じて内容を正確に読み取る力
- 2) 文章を読み取り，それに対して自分の考えをもつ力
- 3) 読書に親しみ，自分の表現や考えの形成に役立てる力

※ どの活動にも，土台となる語彙力（多くの言葉の意味を理解すること）が大切です。辞書を活用するなどして，使用できる言葉を増やしてきましょう。

## 2 評価について

### (1) 評価の観点及びその趣旨

	I 国語的な 知識・技能	II 国語的な 思考・判断・表現	III 国語に主体的に 学習に取り組む態度
教科 の 観 点	社会的に必要な国語について，その特質を理解し適切に使っている。	社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広めたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉がもつ価値を認識しようとしている。また，言語感覚を豊かにし，言葉を適切に使おうとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノート・ワーク等の取組</li> <li>・ワークシート・課題</li> <li>・単元テスト・小テスト</li> <li>・作品・作文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（授業態度・発言内容・準備状況）</li> <li>・ノート・ワーク等の取組</li> <li>・ワークシート・課題</li> <li>・単元テスト・小テスト</li> <li>・作品・作文</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察（授業態度・発言内容・準備状況）</li> <li>・ノート・ワーク等の取組</li> <li>・ワークシート・課題</li> <li>・単元テスト・小テスト</li> <li>・作品・作文</li> </ul>

## 3 1年間で学ぶこと

- ・物語的文章，説明的文章，韻文，古典，言葉の学習，作文，書写を年間指導計画に従って学習します。
- ・単元を終えるごとに単元テストを行います。

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年	
	月	○単元名 ・題材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・題材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・題材名	学習指導要領		時数
4	4	・朝のルー ○言葉に出会うために ・野原はうたう ・声を届ける／書き留める／言葉を探る／／続けてみよう	知・技(1)ア 知・技(1)ア 知・技(1)アウ(2)イ 思・判・表B(1)ア	1 4 1	○見えないだけ ○広がる学びへ 1. ア・スプラネット 4. 問いを立てながら聞く ・季節のしおり 春	知・技(1)エ 思・判・表C(1)ア 知・技(2)ア 思・判・表A(1)アエ 知・技(1)エ	1 4 1	○世界は美しいと ○深まる学びへ 4. 寝手 1. 評価しながら聞く ・季節のしおり 春	知・技(1)イ 知・技(1)イ 思・判・表C(1)アイ 知・技(2)イ 思・判・表A(1)アエ 知・技(1)イ	1 4 1	4
		【書写】 ○読みやすく書くための楷書 ・漢字を分解してみよう	知・技(3)エ(ア)	1	○読みやすく書くための行書 ・点画の省略	知・技(3)ウ(ア)	2				
		○学びをひらく ・情報を的確に聞き取る ・季節のしおり 春 ・情報整理のレッスン 比較・分類 ・情報を整理して書こう わかりやすく説明する ・漢字1 漢字の組み立てと部首	知・技(1)ウ 思・判・表C(1)イ 知・技(2)イ 思・判・表A(1)アエ 知・技(1)ウ 知・技(2)イ 知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア 知・技(1)イ	4 1 1 1 1	・枕草子 自分流「枕草子」を書こう 4. 情報整理のレッスン 思考の視覚化 1. 多様な方法で情報を集めよう 職業ガイドを作る ・漢字1 熟語の構成 漢字に親しもう1 ○多様な視点から 4. クマゼミ増加の原因を探る	知・技(3)イ 思・判・表B(1)ウC(1)オ 知・技(2)イ 知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア 知・技(1)ウ	3 1 1 1	・学びに時に之を習ふ―「論語」から 1. 情報整理のレッスン 情報の信頼性 5. 文章の種類を選んで書こう 修学旅行記を編集する ・漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	知・技(3)ア 思・判・表C(1)エ 知・技(2)イ 知・技(1)ウ 思・判・表B(1)アイ 知・技(1)ア	2 1 4 1	
		【書写】 ○読みやすく書くための楷書 ・漢字の筆使い	知・技(3)エ(ア)	2	○読みやすく書くための行書 ・点画の省略 2. 筆順の変化	知・技(3)ウ(ア) 知・技(3)ウ(ア)	1 1	【書写】 ○文字を使い分ける ・全国文字マップ	知・技(3)エ(ア)	2	
6	6	○新しい視点で ・ダイコンは大きな根？ ・ちよっと立ち止まって ・思考のレッスン1 意見と根拠 ・語の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する ・漢字に親しもう2 ・文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう ○情報社会を生きる ・情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	知・技(2)イ 思・判・表C(1)ア 知・技(2)ア 思・判・表C(1)ア 知・技(2)ア 知・技(1)ア 思・判・表A(1)アイ 知・技(1)イ 知・技(1)エ	2 3 1 1 1 1	・思考のレッスン1 具体と抽象 2. 魅力的な提案をしよう 資料を示してプレゼンテーションをしよう 3. 漢字に親しもう2 1. 文法への扉1 単語をどう分ける？ 4. ○情報社会を生きる 1. メディアを比べよう メディアの特徴を生かして情報を集めよう	知・技(2)ア 知・技(1)ア 思・判・表A(1)イウ 知・技(1)ウ 知・技(1)オ 知・技(2)イ 思・判・表B(1)ア	1 5 1 2 3	○視野を広げて 5. 作られた「物語」を越えて 1. 思考のレッスン 具体化・抽象化 2. 説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける 資料1 力の伝説のスピーチ 3. 漢字に親しもう2 ・文法への扉1 すいはいくつ必要？ ○情報社会を生きる ・実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	知・技(2)ア 思・判・表C(1)アウ 知・技(2)ア 知・技(2)イ 思・判・表A(1)アイ 知・技(1)ア 知・技(1)ア 知・技(2)イ 思・判・表C(1)イウ	3 1 4 1 1 3	6
		【書写】 ○読みやすく書くための楷書 ・楷書に調和する仮名(いろは歌) ・文字の大きさと配列(俳句)	知・技(3)エ(ア) 知・技(3)エ(ア)	2 2	○読みやすく書くための行書 ・筆順の変化 ・行書に調和する仮名(いろは歌)	知・技(3)ウ(ア) 知・技(3)ウ(ア)	2 2	【書写】 ○文字を使い分ける ・文字の使い分け	知・技(3)エ(ア)	1	
		○言葉に立ち止まる ・詩の世界 詩を作ろう ・比喩で広がる言葉の世界 ・言葉1 指示する語句と接続する語句 ・言葉を集めよう もっと「伝わる」表現を目指して ○読書生活を豊かに ・読書を楽しむ ・本の中の中学生	知・技(1)ウオ 思・判・表B(1)ウC(1)エ 知・技(1)オ 思・判・表C(1)ア 知・技(1)エ 知・技(1)ウ 知・技(3)オ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)オ	3 2 1 1 1 1	○言葉と向き合う 3. 短歌に親しむ 短歌を味わう 短歌を作ろう 2. 言葉の力 2. 言葉1 類義語・対義語・多義語 1. 言葉を比べよう ○読書生活を豊かに 1. 読書を楽しむ 5. 創作作品を読み比べよう 星の王子さま 読書コラム 「わからない」は人生の宝物 読書案内 ほんの世界を広げよう ・季節のしおり 夏	知・技(1)エ 思・判・表B(1)ウC(1)エオ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)オ 知・技(1)エ 知・技(3)エ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)エオ 知・技(1)エ	3 2 1 1 1 1	・俳句の可能性 俳句を味わう 俳句を作って楽しもう 4. 言葉を選ぼう もっと「伝わる」表現を目指して 2. 言葉1 和語・漢語・外来語 2. ○読書生活を豊かに 1. 読書を楽しむ ・「私の一冊」を探しにいこう 羊と鎖の森 読書案内 1. 本の世界を広げよう 読書コラム ためになるってどんなこと？ ・季節のしおり 夏	知・技(1)イウ 思・判・表B(1)ウC(1)イ 知・技(1)ウ 思・判・表B(1)ア 知・技(1)イ 知・技(3)オ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)イ	3 1 1 2 1 1	
		【書写】 ○読みやすく書くための楷書 ・「コラム」文字の歴史を探る	知・技(3)エ(イ)	1	○人間のみぎずな 4. 富士産 3. 字のない葉書 ○聞き上手になろう 質問で話を引き出す 2. 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く 1. 表現の効果を考える ・言葉2 敬語	知・技(1)エ 思・判・表C(1)イ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)ア 思・判・表A(1)エ 知・技(1)アカ 思・判・表B(1)ウ 知・技(1)カ 思・判・表B(1)エ 知・技(1)カ	4 3 1 1 1	○状況の中で 4. 挨拶―原簿の写真によせて 3. 敬語 ○聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫る 3. 論理の展開を整える 1. 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語	知・技(1)イ 思・判・表C(1)ウエ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)エ 思・判・表A(1)エ 知・技(2)ア 思・判・表B(1)エ 知・技(1)イ	2 5 1 1 1	
【書写】 ○読みやすく書くための行書 ・速さを比べてみよう	知・技(3)エ(イ)	1	【書写】 ○読みやすく書くための行書 ・行書と仮名の調和	知・技(3)ウ(ア)	2						
10	10	・行書の特徴	知・技(3)エ(イ)	1							
		・言葉2 方言と共通語 ・漢字2 漢字の音訓	知・技(3)ウ 知・技(1)イ	2 1	・漢字2 同じ訓、同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう3	知・技(1)ウエ	1	・漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	知・技(1)ア	1	



学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年	
	月	○単元名 ・題材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・題材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・題材名	学習指導要領		時数
10	10	○筋道を立てて ・「言葉をもつ鳥」 シジュウカラ ・思考のレッスン2 原因と結果 ・根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く ・漢字に親しもう3 ・話し合い 話し合いの展開を捉える	知・技(2)ア 思・判・表C(1)エ 知・技(2)ア 知・技(2)イ 思・判・表B(1)イウ 知・技(1)イ 知・技(2)ア 思・判・表A(1)オ	4 4 1 5 1 1	○論理を捉えて ・モアイは語る—地球の未来 ・思考のレッスン2 根拠の吟味 ・根拠の適切さを考えて書こう 意見文を書く ・漢字に親しもう4 ・討論 異なる立場から考える ・立場を尊重して話し合おう 討論で多角的に検討する	知・技(2)ア 思・判・表C(1)エオ 知・技(2)ア 知・技(2)ア 思・判・表B(1)ウ 知・技(1)ウ 知・技(2)ア 思・判・表A(1)オ 知・技(2)ア 思・判・表A(1)アオ	4 1 1 1 4	○自分の考えを ・人工知能との未来 人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を書く ・漢字に親しもう4 ・議論 話し合いを効果的に進める	知・技(2)イ 思・判・表C(1)イエ 知・技(2)ア 思・判・表B(1)イウ 知・技(1)ア 知・技(2)ア 思・判・表A(1)オ	3 4 1 1	
											【書写】 ○読みやすく速く書くための行書 ・丸み・点画の連続
	11	○話し合いの心 ・「不従」の価値を見つめ直す 根拠を明確にして意見をまとめよう ・助言を自分の文章に生かそう 作品の書評を書く ・漢字に親しもう4 ・文法への扉2 言葉の関係を考えよう ○読書に親しむ ・考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約 ・季節のしおり 冬	知・技(2)ア 思・判・表C(1)オ 知・技(3)オ 思・判・表B(1)イ 知・技(1)イ 知・技(1)エ 知・技(3)ア 知・技(3)ア 思・判・表C(1)イ 知・技(3)ア 思・判・表C(1)オ	4 1 1 2 1 1	○価値を語る ・君は「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しいさ ・勢力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く ・漢字に親しもう5 2 文法への扉2 走る。走らない。走ろうよ。 ○読書に親しむ ・研究の現場!ようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 ガサの森でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう ・季節のしおり 冬	知・技(2)イ 思・判・表C(1)イエ 知・技(1)エ 思・判・表B(1)ウオ 知・技(1)ウ 知・技(1)オ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)オ 知・技(1)エ	4 1 2 1 6	○自分の考えを ・未来への向かって ・温かいスープ ・わたしを棄ねないで	知・技(2)ア 思・判・表A(1)オ 知・技(1)イ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)イ 思・判・表C(1)ウ 知・技(1)エ、2年(1)オ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)イ	1 2 1 1 3	
											【書写】 ○読みやすく速く書くための行書 ・点画の変化
12	○自分を見つめる ・少年の目の思い出 ・漢字に親しもう6 ・文法への扉3 単語の性質を見つめよう ・随筆二編	知・技(2)ア 思・判・表C(1)ウオ 知・技(3)オ 思・判・表B(1)イ 知・技(1)イ 知・技(1)エ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)オ 知・技(1)ウ	4 1 2 1 1	○価値を見つめる ・「最後の晩餐」を知っているか 「最後の晩餐」の新しいさ ・勢力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く ・漢字に親しもう5 2 文法への扉3 走る。走らない。走ろうよ。 ○読書に親しむ ・研究の現場!ようこそ 日本に野生のゾウやサイがいた頃 ガサの森でバイオリン 読書案内 本の世界を広げよう ・季節のしおり 冬	知・技(2)イ 思・判・表C(1)イエ 知・技(1)エ 思・判・表B(1)ウオ 知・技(1)ウ 知・技(1)オ 知・技(3)エ 思・判・表C(1)オ 知・技(1)エ	4 1 2 1 6	○未来への向かって ・温かいスープ ・わたしを棄ねないで	知・技(1)イ 思・判・表C(1)エ 知・技(2)ア 思・判・表B(1)イウ 知・技(1)イ 知・技(1)エ、2年(1)オ 知・技(3)オ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)イ	1 2 1 1 3		
										【書写】 ○読みやすく速く書くための行書 ・書きぞめ作品づくり	知・技(3)アエ(ア)・(イ)、(1)イ
1	○自分を見つめる ・少年の目の思い出 ・漢字に親しもう6 ・文法への扉3 単語の性質を見つめよう ・随筆二編	知・技(1)ウ 思・判・表C(1)エオ 知・技(1)イ 知・技(1)エ 知・技(1)ウ 思・判・表C(1)イウ	6 1 2 2	○表現を見つめる ・忘れメロス 1 漢字に親しもう6 2 文法への扉3 一字違いで大違い	知・技(1)エ 思・判・表C(1)イオ 知・技(1)ウ 知・技(1)オ	6 1 2	○未来への向かって ・温かいスープ ・わたしを棄ねないで	知・技(3)オ 思・判・表C(1)エ 知・技(1)イ 思・判・表C(1)エ	3 2		
										【書写】 ○読みやすく速く書くための行書 ・新年の目標を書こう	知・技(3)アエ(ア)・(イ)、(1)イ
2	○構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く ・言葉3 ささまざまな表現技法 ・漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6	知・技(1)ウ 思・判・表B(1)イウ 知・技(1)オ 知・技(1)イ	4 2 1 1	○構成や展開を工夫して書こう「ある日の自分」の物語を書く 2 言葉3 話し言葉と書き言葉 1 漢字3 漢字の成り立ち 漢字に親しもう6 5 国語の学びを振り返ろう テーマを決めて話し合い、壁新聞を作る	知・技(1)オ 思・判・表B(1)イオ 知・技(1)イ 知・技(1)ウ 知・技(1)オ(2)イ 思・判・表A(1)オ B(1)イエ	4 2 2 5	○未来への向かって ・温かいスープ ・わたしを棄ねないで	知・技(1)イ 思・判・表A(1)ウB(1) 知・技(1)ア	6 1		
										【書写】 ○読みやすく速く書くための行書 ・季節のしおり 春・夏・秋・冬	知・技(3)アエ(ア)・(イ)、(1)イ
3	○一年の学びを振り返ろう 要点をフィリップにまとめ、発表する ・さくらの はなびら ・学習を振り返ろう	知・技(1)ア(2)イ 思・判・表A(1)ウB(1)ア 知・技(1)オ 思・判・表C(1)オ 知・技(2)イ(3)ウ 思・判・表A(1)イウ 思・判・表B(1)ウC(1)アオ	5 1 3	○木 ○振り返り 1 学習を振り返ろう	知・技(1)エ 思・判・表C(1)オ 知・技(1)アカ(2)ア 思・判・表A(1)イ B(1)ウエC(1)アエ	2 3	○未来への向かって ・温かいスープ ・わたしを棄ねないで	知・技(1)エ(2)ア(3)ウオ 思・判・表A(1)イウB(1)イウC(1)エ	4 2		
										【書写】 ○文字を使い分ける ・冊子にまとめよう	知・技(3)エ(ア)、(1)ア
合計 142 うち書写 22				合計 146 うち書写 28				合計 106 うち書写 14			

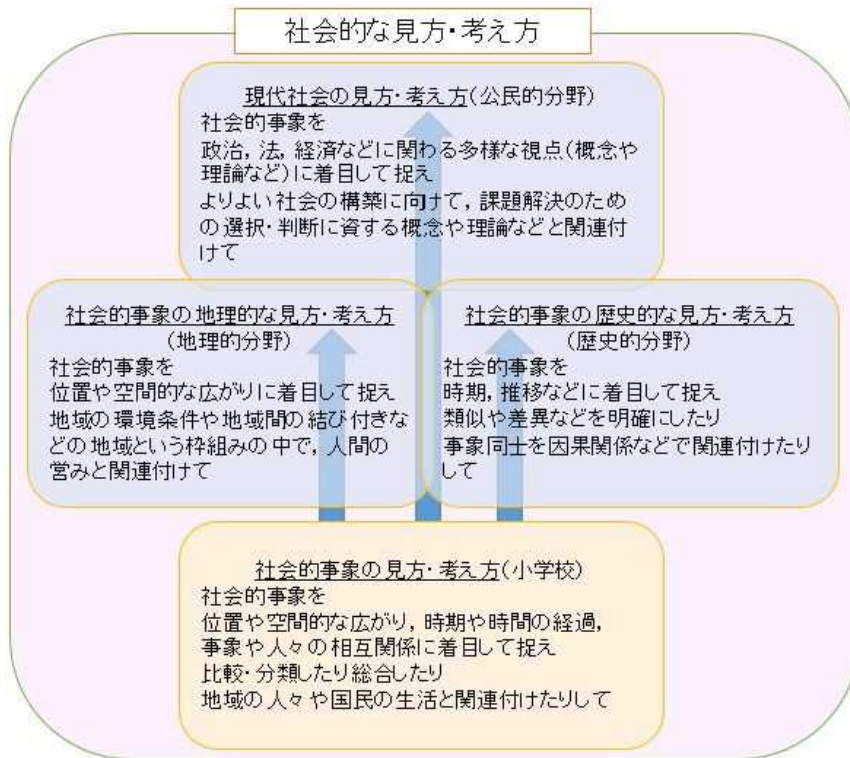
# 社会科 学習の手引

## I 社会科で身に付けたい力とは

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、社会の形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

具体的には…

- ・「社会」のできごとを理解し、資料から様々な情報を効果的に調べまとめる力【知識・技能】
- ・「社会」の仕組みや、それらの関わりを様々な角度から捉え、課題の解決に向けて考え判断したことを説明したり、議論したりする力【思考・判断・表現】
- ・「社会」のできごとについて、将来の社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に主体的に課題を解決しようとする力【主体的に学習に取り組む態度】



## 2 評価について

次の3つの観点で評価し、それらをA<sup>+</sup>、A、B、C<sup>+</sup>、Cの5段階で評価します。

### (1) 評価の観点及びその趣旨

I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関係を多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

### (2) 評価の方法

I 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・授業への取組(発言・発表)</li> <li>・プリント、ノート、自主学習帳、地理資料等の記述内容</li> </ul>
II 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査・グループでの話し合いや発表への取組(発言・発表)</li> <li>・プリント、ノート、自主学習帳、地理資料等の記述内容</li> </ul>
III 主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリント、ノート、自主学習帳、地理資料等の記述内容</li> <li>・単元のまとめでの振り返り</li> </ul>

## 3 1年間で学ぶこと

・教科書は、学習する内容ごとに1～6章に分かれており、単元ごとに学習が進んでいきます。

1年間の詳しい学習の流れについては、年間指導計画の表を確認しましょう。

・単元は、さらに小さなまとまりの「節」に分かれており、この「節」を終えるごとに「小テスト」を行います。

学年	第1学年				第2学年				第3学年				学年			
	月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	月					
4	4	<地理的分野> ○ 世界の姿 ・私たちの住む地球を眺めて ・いろいろな国の国名と位置 ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図の違い ・章の学習を振り返ろう ○ 日本の姿 ・世界の中での日本の位置 ・時差でとらえる日本の位置 ・日本の領域とその特色 ・都道府県と県庁所在地 ・章の学習を振り返ろう ○ 人々の生活と環境 ・世界のさまざまな生活と環境 ・暑い地域の暮らし～インドネシアでの生活～ ・乾燥した地域の暮らし～アラビア半島での生活～ ・温暖な地域の暮らし～スペインでの生活～ ・寒い地域の暮らし～シベリアでの生活～ ・高地の暮らし～アンデス山脈での生活～ ・世界各地の気候とそとの変化 ・人々の生活と宗教の関わり ・章の学習を振り返ろう	A(1)ーア	5	<歴史的分野> ○ 世界による全国支配の完成 ・幕藩体制の始まり ・朱印船貿易から貿易統制へ ・四つに絞られた貿易の窓口 ・琉球王国とアイヌの人々への支配 ○ 天下泰平の世の中 ・タイムトラベル 江戸時代を眺めてみよう ・身分制の下での暮らし ・安定する社会と播磨家の発達 ・各地を結ぶ陸の道・海の手 ・上方で栄えた町人の元禄文化 ○ 社会の変化と幕府の対策 ・貨幣経済の広まり ・繰り返される要求と改革 ・江戸の庶民が担った化政文化 ・多面的・多角的に考えてみよう ・章の学習を振り返ろう	B(3)ーア・イ	4	<歴史的分野> ○ 高まるデモクラシーの意涵 ・タイムトラベル 大正～昭和初期を眺めてみよう ・護憲運動と政党内閣の成立 ・社会運動の高まりと普通選挙の実現 ・近代都市に現れた大衆文化 ・多面的・多角的に考えてみよう ○ 世界に向かう世論 ・世界恐慌と行き詰まる日本 ・欧米諸国が選択した道 ・強まる軍部と衰える政党 ・日中戦争と総力戦に向かう国民生活 ○ 第二次世界大戦の惨禍 ・タイムトラベル 第二次世界大戦期を眺めてみよう ・第二次世界大戦への道 ・太平洋戦争と植民地支配の変化 ・戦局の悪化と戦下の暮らし ・ポツダム宣言と日本の敗戦 ・章の学習を振り返ろう	C(1)ーア・イ	5	<地理的分野> ○ 日本の地域的特色 ・日本の人口 ・日本の資源・エネルギーと電力 ・日本の農業・林業・漁業とその変化 ・日本の工業とその変化 ・日本の商業・サービス業 ・日本の交通網・通信網 ・さまざまな地域区分 ・章の学習を振り返ろう ○ 九州地方 ・火山と共にある九州の人々の生活 ・自然を生かした九州地方の農業 ・都市や産業の発展と自然環境 ・西諸島の自然環境と人々の生活や産業 ・節の学習を振り返ろう ○ 中国・四国地方 ・中国・四国地方の自然環境 ・交通網の整備と人々の生活の変化 ・瀬戸内海の海運と工業の発展 ・交通網を生かして発展する農業 ・人々を呼び寄せる地域の取り組み ・節の学習を振り返ろう ○ 近畿地方 ・近畿地方の自然環境 ・琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ・阪神工業地帯と環境問題への取り組み ・古都京都・奈良と歴史的景観の保全 ・環境に配慮した林業と漁業 ・節の学習を振り返ろう	C(2)ーア	8	<歴史的分野> ○ 世界の多極化と日本の成長 ・日本の独立と世界の動き ・冷戦下での日本とアジア ・経済成長による日本の変化 ・日本の社会と国際関係の変化 ・大衆化・多様化する戦後の文化 ○ これからの日本と世界 ・グローバル化が進む世界 ・激変する日本とアジア ・国際社会におけるこれからの日本 ・章の学習を振り返ろう ・多面的・多角的に構想する 未来に向けて	C(2)ーア・イ	4
			A(1)ーイ	1		C(2)ーイ	5		C(2)ーア・イ	5						
			A(1)ーア	5		C(3)ーア	6		C(2)ーア・イ	6						
			A(1)ーイ	1		C(3)ーイ	6		C(2)ーア・イ	6						
			A(2)ーア・イ	5		C(3)ーア	6		C(2)ーア・イ	6						
	6	6	○ 東アジアの中の様(日本) ・タイムトラベル 縄文・弥生時代を眺めてみよう ・縄文から弥生への変化 ・ムラがまとまりクニへ ・鉄から見えるヤマト王権 ○ 人類の登場から文明の発生へ ・人類がどういった進化 ・世界各地で生まれる文明 ・東アジアの文明の広がり ・ギリシャとローマの政治と文明 ・仏教・キリスト教・イスラム教の誕生	A(1)ーア・イ	1	<歴史的分野> ○ 九州地方 ・火山と共にある九州の人々の生活 ・自然を生かした九州地方の農業 ・都市や産業の発展と自然環境 ・西諸島の自然環境と人々の生活や産業 ・節の学習を振り返ろう ○ 中国・四国地方 ・中国・四国地方の自然環境 ・交通網の整備と人々の生活の変化 ・瀬戸内海の海運と工業の発展 ・交通網を生かして発展する農業 ・人々を呼び寄せる地域の取り組み ・節の学習を振り返ろう ○ 近畿地方 ・近畿地方の自然環境 ・琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ・阪神工業地帯と環境問題への取り組み ・古都京都・奈良と歴史的景観の保全 ・環境に配慮した林業と漁業 ・節の学習を振り返ろう ○ 中部地方 ・中部地方の自然環境 ・中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 ・東海で発達するさまざまな産業 ・内陸にある中央高地の産業の移り変わり ・畜を主とした肉畜の産業 ・節の学習を振り返ろう	B(1)ーア・イ	5	<歴史的分野> ○ 現代社会の特色と私たち ・持続可能な社会に向けて ・グローバル化 結び付きを深める世界 ・少子高齢化 変わる人口構成と家族 ・情報化 情報が変える社会の仕組み ○ 私たちの生活と文化 ・私たちの生活と文化の役割 ・伝統文化と新たな文化の創造 ・多文化共生を目指して ○ 現代社会の見方や考え方 ・社会集団の中で生きる私たち ・決まりを作る目的と方法 ・効率と公正 ・決まりの評価と見直し ・基礎・基本のまとめ 第1章の学習をふり返ろう ・まとめの活動 T市の自転車の使用ルールを考えよう	C(2)ーア・イ	5	<地理的分野> ○ 東アジアの中の様(日本) ・タイムトラベル 平安時代を眺めてみよう ・権力を握った貴族たち ・唐風から日本風へ変わる文化 ・章の学習を振り返ろう ○ 武家政権の成長と東アジア ・タイムトラベル 鎌倉時代を眺めてみよう ・各地で生まれる武士団 ・朝廷と結び付く武士 ・鎌倉を中心とした武家政権 ・武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ○ 武家政権の内と外 ・海を越えて迫る元軍 ・南北朝の内乱と新たな幕府 ・東アジアの交易と倭寇 ・琉球とアイヌの人々がつながる交易	C(2)ーア・イ	5		
				A(2)ーア・イ	5		C(3)ーイ	4		A(1)ーア・イ	4					
				B(1)ーア・イ	4		C(3)ーア	6		A(1)ーア・イ	3					
				B(1)ーア・イ	4		C(3)ーイ	6		A(2)ーア・イ	6					
				B(1)ーア・イ	3		C(3)ーア	6		A(2)ーア・イ	8					
7		7	○ 展開する天皇・貴族の政治 ・タイムトラベル 平安時代を眺めてみよう ・権力を握った貴族たち ・唐風から日本風へ変わる文化 ・章の学習を振り返ろう ○ 武家政権の成長と東アジア ・タイムトラベル 鎌倉時代を眺めてみよう ・各地で生まれる武士団 ・朝廷と結び付く武士 ・鎌倉を中心とした武家政権 ・武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ○ 武家政権の内と外 ・海を越えて迫る元軍 ・南北朝の内乱と新たな幕府 ・東アジアの交易と倭寇 ・琉球とアイヌの人々がつながる交易	B(1)ーア・イ	4	<歴史的分野> ○ 現代社会の特色と私たち ・持続可能な社会に向けて ・グローバル化 結び付きを深める世界 ・少子高齢化 変わる人口構成と家族 ・情報化 情報が変える社会の仕組み ○ 私たちの生活と文化 ・私たちの生活と文化の役割 ・伝統文化と新たな文化の創造 ・多文化共生を目指して ○ 現代社会の見方や考え方 ・社会集団の中で生きる私たち ・決まりを作る目的と方法 ・効率と公正 ・決まりの評価と見直し ・基礎・基本のまとめ 第1章の学習をふり返ろう ・まとめの活動 T市の自転車の使用ルールを考えよう	C(3)ーイ	4	<歴史的分野> ○ 人権と共生社会 ・平等権① 共生社会を目指して ・平等権② 共生社会を目指して ・自由権 自由に生きる権利 ・社会権 豊かに生きる権利 ・人権を確実に保障するための権利 ・公共の福祉と国民の義務 ○ これからの人権保障 ・新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権 ・新しい人権② 情報化の進展と人権 ・グローバル社会と人権 ・基礎・基本のまとめ 第2章の学習をふり返ろう ・まとめの活動 ちがいのちがいを追究しよう	C(1)ーア・イ	6					
				B(1)ーア・イ	4		C(3)ーア	6		C(1)ーア・イ	9					
				B(1)ーア・イ	3		C(3)ーイ	5		C(1)ーア・イ	6					
				B(2)ーア・イ	4		C(1)ーア・イ	5		C(1)ーア・イ	6					
				B(1)ーア・イ	3		C(3)ーイ	4		C(1)ーア・イ	5					
	8	○ 展開する天皇・貴族の政治 ・タイムトラベル 平安時代を眺めてみよう ・権力を握った貴族たち ・唐風から日本風へ変わる文化 ・章の学習を振り返ろう ○ 武家政権の成長と東アジア ・タイムトラベル 鎌倉時代を眺めてみよう ・各地で生まれる武士団 ・朝廷と結び付く武士 ・鎌倉を中心とした武家政権 ・武士や僧侶たちが広めた鎌倉文化 ○ 武家政権の内と外 ・海を越えて迫る元軍 ・南北朝の内乱と新たな幕府 ・東アジアの交易と倭寇 ・琉球とアイヌの人々がつながる交易	B(1)ーア・イ	3	<歴史的分野> ○ 近畿地方 ・近畿地方の自然環境 ・琵琶湖の水が支える京阪神大都市圏 ・阪神工業地帯と環境問題への取り組み ・古都京都・奈良と歴史的景観の保全 ・環境に配慮した林業と漁業 ・節の学習を振り返ろう ○ 中部地方 ・中部地方の自然環境 ・中京工業地帯の発展と名古屋大都市圏 ・東海で発達するさまざまな産業 ・内陸にある中央高地の産業の移り変わり ・畜を主とした肉畜の産業 ・節の学習を振り返ろう ○ 開国と幕府の終わり ・日本を取り巻く世界情勢の変化 ・諸藩の改革と幕府の衰退 ・黒船来航の衝撃と開国 ・江戸幕府の滅亡	C(3)ーイ	4	<歴史的分野> ○ 人権と共生社会 ・平等権① 共生社会を目指して ・平等権② 共生社会を目指して ・自由権 自由に生きる権利 ・社会権 豊かに生きる権利 ・人権を確実に保障するための権利 ・公共の福祉と国民の義務 ○ これからの人権保障 ・新しい人権① 産業や科学技術の発展と人権 ・新しい人権② 情報化の進展と人権 ・グローバル社会と人権 ・基礎・基本のまとめ 第2章の学習をふり返ろう ・まとめの活動 ちがいのちがいを追究しよう	C(1)ーア・イ	4						
			B(1)ーア・イ	3		C(3)ーア	6		C(1)ーア・イ	10						
			B(2)ーア・イ	4		C(3)ーイ	5		C(1)ーア・イ	6						
			B(2)ーア・イ	4		C(1)ーア・イ	5		C(1)ーア・イ	5						
			B(2)ーア・イ	4		C(1)ーア・イ	4		C(1)ーア・イ	5						

学年	第1学年				第2学年				第3学年				学年
月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	月			
10	○ 人々の結び付きが強まる社会 ・タイムトラベル 室町時代を眺めてみよう ・技術の発達とさまざまな職業 ・団結して自立する民衆 ・全国に広がる下別上 ・庶民に広がる都市文化 ・章の学習を振り返ろう  <地理的分野> ○ アジア州 ・アジア州の自然環境 ・アジア州の農業・文化と経済発展 ・経済発展を急速に遂げた中国 ・最も近い隣国 韓国 ・経済発展を目指す東南アジア ・産業の発展と人口増加が急速に進む南アジア ・資源が豊富な中央アジア・西アジア ・節の学習を振り返ろう  ○ ヨーロッパ州 ・ヨーロッパ州の自然環境 ・ヨーロッパ文化の共通性と多様性 ・EUの成り立ちとその影響 ・ヨーロッパの農業とEUの影響 ・ヨーロッパの工業とEUの影響 ・EUが抱える課題 ・節の学習を振り返ろう	B(2)ーア・イ	5	○ 明治政府による「近代化」の始まり ・タイムトラベル 明治時代を眺めてみよう ・新政府による改革 ・富国強兵を目指す ・文明開化と新政府の政策  <地理的分野> ○ 近代国家への歩み ・新たな外交と国境の画定 ・沖縄・北海道と「近代化」の波 ・自由と民権を求めて ・帝国憲法の成果と課題 ・多面的・多角的に考えてみよう	C(1)ーア・イ	4	○ 現代の民主政治 ・選入の活動 たれを市長に選ぶ？ ・政治と民主主義 ・選挙の意義と仕組み ・政党の役割 ・マスメディアと世論 ・選挙の課題と私たちの政治参加 ・[18歳へのステップ] 選挙の流れ  ○ 国の政治の仕組み ・国会の地位と仕組み ・法律や予算ができるまで ・行政を監視する国会 ・行政の仕組みと内閣 ・行政の役割と行政改革 ・裁判所の仕組みと働き ・裁判の種類と人権 ・裁判員制度と司法制度改革 ・[みんなでチャレンジ] 模擬裁判をやってみよう ・三種の抑制と均衡	C(2)ーア・イ	7	10			
11	○ アフリカ州 ・アフリカ州の自然環境 ・アフリカ州の歴史と文化 ・特定の輸出品に頼るアフリカの経済 ・アフリカが抱える課題とその取り組み ・節の学習を振り返ろう  ○ 北アメリカ州 ・北アメリカ州の自然環境 ・移民の歴史と多様な民族構成 ・大規模な農業と多様な農産物 ・世界をリードする工業 ・アメリカ合衆国における生産と消費の問題 ・節の学習を振り返ろう  ○ 南アメリカ州 ・南アメリカ州の自然環境 ・多様な民族・文化と人々の生活 ・大規模化する農業と成長する工業 ・ブラジルにおける開発と環境保全 ・節の学習を振り返ろう  ○ オセアニア州 ・オセアニア州の自然環境 ・移民の歴史と多文化社会への歩み ・他地域と結び付けて発展する産業 ・節の学習を振り返ろう	B(2)ーア B(2)ーイ B(2)ーア B(2)ーイ B(2)ーア B(2)ーイ B(2)ーア B(2)ーイ B(2)ーア B(2)ーイ B(2)ーア B(2)ーイ	8 7 5 6 5 4	<地理的分野> ○ 関東地方 ・関東地方の自然環境 ・多くの人々が集まる首都 東京 ・東京大都市圏の進歩問題とその対策 ・人口の集中と第3次産業の発展 ・臨海部から内陸部へ移りゆく工場 ・大都市周辺の農業と山間部の過疎問題 ・節の学習を振り返ろう  ○ 東北地方 ・東北地方の自然環境 ・伝統行事と生活・文化の変化 ・稲作と畑作に対する人々の工夫や努力 ・果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力 ・工業の発展と人々の生活の変化 ・節の学習を振り返ろう  ○ 北海道地方 ・北海道地方の自然環境 ・雪と共にある北海道の人々の生活 ・厳しい自然環境を克服してきた稲作 ・自然の恵みを生かす畑作や酪農、漁業 ・北国の自然を生かした観光業 ・節の学習を振り返ろう  ○ 地域の在り方 ・課題を把握しよう ・地域をとらえよう ・課題の要因を考察しよう ・課題の解決に向けて構想しよう ・課題の成果を発信しよう	C(3)ーア C(3)ーイ C(3)ーア C(3)ーイ C(4)ーア C(4)ーイ	7 6 6 2	○ 地方自治と私たち ・私たちの生活と地方自治 ・地方自治の仕組み ・地方公共団体の課題 ・住民参加の拡大と私たち ・[みんなでチャレンジ] 政治参加をしてみよう ・基礎・基本のまとめ 第3章の学習を振り返ろう ・まとめの活動 S市の市長になって条例を作ろう  ○ 消費生活と市場経済 ・導入の活動 コンビニエンスストアの経営者になってみよう ・私たちの消費生活 ・契約と消費生活 ・消費者の権利を守るために ・[18歳へのステップ] 契約のあれこれ ・消費生活を支える流通  ○ 生産と労働 ・生産活動と企業 ・企業の種類 ・株式会社との仕組み ・労働の意義と労働者の権利 ・労働環境の変化と課題  ○ 市場経済の仕組みと金融 ・市場経済と価格の決め方 ・価格の働き ・貨幣の役割と金融 ・私たちの生活と金融機関 ・景気と金融政策 ・グローバル経済と金融	C(2)ーア・イ B(1)ーア・イ B(1)ーア・イ B(1)ーア・イ B(2)ーア・イ	10 7 6 5 4	11			
12	○ 戦乱から全国統一へ ・タイムトラベル 安土桃山時代を眺めてみよう ・信長・秀吉による全国統一 ・秀吉が導いた近世社会 ・戦国大名と豪商が担った桃山文化  <地理的分野> ○ 身近な地域の調査 ・調査テーマを決めよう ・調査方法を考えよう ・野外調査をしよう ・調査を深めて結果を発表しよう ○ 日本の地域的特色 ・山がちな日本の地形 ・川が流れる地形と海岸や海洋の特色 ・日本の気候 ・日本のさまざまな自然災害 ・自然災害に対する備え	B(3)ーア・イ C(1)ーア C(1)ーイ C(2)ーア	3 2 5	<歴史的分野> ○ 帝国主義と日本 ・アジアの列強を目指して ・朝鮮をめぐる対立 日清戦争 ・世界が目指した日露戦争 ・塗り替えられたアジアの地図  ○ アジアの強国の光と影 ・近代日本を支えた糸と鉄 ・変わる都市と農村 ・欧米の影響を受けた近代文化 ・章の学習を振り返ろう  <歴史的分野> ○ 第一次世界大戦と民族独立の動き ・第一次世界大戦の始まりと総力戦 ・第一次世界大戦の拡大と日本 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・アジアの民族自決と国際協定  ○ 高まるデモクラシーの意識 ・タイムトラベル 大正～昭和初期を眺めてみよう ・選挙運動と政党内閣の成立 ・社会運動の高まりと普通選挙の実現 ・近代都市に現れた大衆文化 ・多面的・多角的に考えてみよう	C(1)ーア・イ C(1)ーア・イ C(1)ーア・イ C(1)ーア・イ	4 4 4 5	○ これからの経済と社会 ・公害の防止と環境の保全 ・経済の持続可能性と真の豊かさ ・基礎・基本のまとめ 第4章の学習を振り返ろう ・まとめの活動 コンビニエンスストアのお弁当を企画しよう  ○ 国際社会の仕組み ・導入の活動 SDGsから地球規模の課題についてとらえよう ・国際社会における国家 ・領土をめぐる問題の現状 問題の解決に向けて ・国際連合の仕組みと役割 ・地域主義の動き ・新興国の台頭と経済格差  ○ さまざまな国際問題 ・地球環境問題 ・資源・エネルギー問題 限りある資源と環境への配慮 ・貧困問題 公正な世界を創る ・新しい戦争 平和な世界に向けて ・難民問題  ○ これからの地球社会と日本 ・世界と協力する日本 ・より良い地球社会を目指して ・基礎・基本のまとめ 第5章の学習を振り返ろう ・まとめの活動 はちみつ争い  ○ より良い社会を目指して ・持続可能な社会の形成者として ・持続可能な社会を実現するために ・探究を続ける	B(2)ーア・イ B(2)ーア・イ D(1)ーア・イ D(1)ーア・イ D(1)ーア・イ D(2)ーア・イ	4 4 6 5 4 3	12			
	評価と予備		8	評価と予備		3	評価と予備		12				
	合計		109	合計		109	合計		140				

# 数学 学習の手引き

## 1 数学で身に付けたい力とは

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、考える力。

【数学的な見方・考え方】とは・・・??

どのような視点で物事を捉え、どのような考え方をしていくかという、物事の特徴や本質をとらえる視点や、思考の進め方や方向性を意味します。これは、数学の学習に限らず、大人になって生活していく上でも大切な力です。

【数学的活動】とは・・・??

物事を数理的に捉えて数学の問題を見だし、その問題を自分の力で、あるいは他者と協力しながら解決しようとすることです。中学校数学では、主に次の3つの活動を行います。

日常生活や社会の中から  
問題を見だし  
解決していく活動

数学の問題や数学的な結論  
から新たな問題を見だし  
解決していく活動

数学的な言葉を使って  
筋道立てて説明し伝え合う  
活動

## 2 評価について

○毎回の授業で、三つの観点について評価します。その積み重ねによって最終的な評定が付けられること  
になります。

### 【評価の観点と評価の方法】

	数学的な知識・技能 (何ができるか)	数学的な思考・判断・表現 (知識・技能をどう使うか)	数学に主体的に学習に取り組む態度 (よりよく学ぼうとしているか)
評 価 の 観 点	数量や図形などについて の基礎的な性質を理解して いる。  日常生活や社会の問題を 数学化したり、数学的に考え 解決したりする技能を身に 付けている。	数学を使って物事を論理的 に考える力, 数量や図形などの 性質を見いだしまとめたり発 展的に考えたりする力, 数学的 な言葉を使って物事を簡潔・明 瞭・的確に表現する力を身に付 けている。	数学的活動の楽しさや数学の よさを実感して粘り強く考え, 数 学を生活や学習に生かそうとし たり, 問題解決の過程を振り返っ て評価・改善しようとしたりして いる。
評 価 の 方 法	・授業課題の記述内容 ・章テスト, 小テスト	・授業課題の記述内容 ・章テスト	・授業課題の記述内容 ・自己評価カードの記述 ・提出物の状況 →プリントやワーク等 ・類似問題での正答数の変化

## 3 1年間で学ぶこと

- ・教科書は、学習する内容ごとに大きく「数と式」「図形」「関数」「データの活用」の4つの単元に分かれて  
ています。1年間の詳しい学習の流れについては、次ページの表を確認しましょう。
- ・単元は、さらに小さなまとまりの「章」に分かれており、この「章」を終えるごとに「章テスト」を行  
います。
- ・章は、さらに小さなまとまりの「節」に分かれています。節の終わりや授業の終わりに「小テスト」を  
行うことがあります。

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年	
	月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領		時数
4	4	○0章 算数から数学へ ・1節 整数の性質	A数と式(1)	3	1章 文字式を使って説明しよう[式の計算] ・1節 式の計算 ・2節 文字式の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	A数と式(1) ア(ア)(イ), イ(ア) ア(ウ)(エ), イ(イ)	8 6 2	1章 文字式を使って説明しよう[多項式] ・1節 多項式の計算 ・2節 因数分解 ・3節 式の計算の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	A数と式(2) ア(ア)(イ), イ(ア) ア(ウ), イ(ア) ア(イ), イ(イ)	8 6 4 2	4
	5	○2章 数の世界をさらにひろげよう[平方根] ・1節 平方根 ・2節 根号をふくむ式の計算 ・3節 平方根の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	A数と式(1) ア(ア) ア(イ), イ(ア) ア(ウ), イ(イ)	6 8 1 2							
					6	○2章 数学のこぼれを身につけよう[文字と式] ・1節 文字を使った式 ・2節 文字式の計算 ・3節 文字式の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	A数と式(2) ア(ア) ア(イ)(ウ), イ(ア) ア(エ)	8 6 3 2	3章 関数を利用して問題を解決しよう[一次関数] ・1節 一次関数 ・2節 一次関数の性質と調べ方 ・3節 二元一次方程式と一次関数 ・4節 一次関数の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	C関数(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ア(ウ) ア(イ), イ(イ)	
7	○3章 未知の数の求め方を考えよう[方程式] ・1節 方程式とその解き方 ・2節 一次方程式の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	A数と式(3) ア(ア)(イ), イ(ア) イ(イ)	7 6 2	4章 関数の世界をひろげよう[関数 $y = ax^2$ ] ・1節 関数 $y = ax^2$ ・2節 関数 $y = ax^2$ の性質と調べ方 ・3節 いろいろな関数の利用 ・単元末問題演習・単元テスト							C関数(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ア(ウ), イ(イ)
					8	○4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例] ・1節 関数と比例・反比例 ・2節 比例の性質と調べ方 ・3節 反比例の性質と調べ方 ・4節 比例と反比例の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	C関数(1) ア(ア)(イ), イ(イ) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) イ(イ)	5 7 6 3 2	4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同] ・1節 説明のしくみ ・2節 平行線と角 ・3節 合同な図形 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(1)(2) B図形(1)ア(イ) B図形(1)ア(ア), イ(ア) B図形(2)ア(ア)(イ)	
9	○4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例] ・1節 関数と比例・反比例 ・2節 比例の性質と調べ方 ・3節 反比例の性質と調べ方 ・4節 比例と反比例の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	C関数(1) ア(ア)(イ), イ(イ) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) イ(イ)	5 7 6 3 2	4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同] ・1節 説明のしくみ ・2節 平行線と角 ・3節 合同な図形 ・単元末問題演習・単元テスト							B図形(1)(2) B図形(1)ア(イ) B図形(1)ア(ア), イ(ア) B図形(2)ア(ア)(イ)
					10	○4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例] ・1節 関数と比例・反比例 ・2節 比例の性質と調べ方 ・3節 反比例の性質と調べ方 ・4節 比例と反比例の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	C関数(1) ア(ア)(イ), イ(イ) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) ア(イ)(ウ)(エ), イ(ア) イ(イ)	5 7 6 3 2	4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同] ・1節 説明のしくみ ・2節 平行線と角 ・3節 合同な図形 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(1)(2) B図形(1)ア(イ) B図形(1)ア(ア), イ(ア) B図形(2)ア(ア)(イ)	



学年 月	第1学年			第2学年			第3学年			学年 月	
	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数		
10	○4章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例] ・1節 関数と比例・反比例 ・2節 比例の性質と調べ方 ・3節 反比例の性質と調べ方 ・4節 比例と反比例の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	○関数(1) ア(ア)(イ)、イ(イ) ア(イ)(ウ)(エ)、イ(ア) ア(イ)(ウ)(エ)、イ(ア) イ(イ)	5 7 6 3 2	4章 図形の性質の調べ方を考えよう[平行と合同] ・1節 証明のしきみ ・2節 平行線と角 ・3節 合同な図形 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(1) ア(イ)、イ(ア) ア(ア)、イ(ア) ア(ア)(イ)	3 5 6 2	5章 形に着目して図形の性質を調べよう[相似な図形] ・1節 相似な図形 ・2節 平行線と比 ・3節 相似な図形の面積と体積 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(1) ア(ア)、イ(ア)(ウ) イ(イ)(ウ) ア(イ)、イ(ウ)	9 8 5 2	10	
11	○5章 平面図形の見方をひろげよう[平面図形] ・1節 図形の移動 ・2節 基本の作図 ・3節 おうぎ形 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(1) ア(イ)、イ(イ)(ウ) ア(ア)、イ(ア) ア(イ)	6 8 2 2	5章 図形の性質を見つけて証明しよう ・1節 三角形 ・2節 平行四辺形 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(2) イ(ア)(イ) イ(ア)(イ)	8 12 2	6章 円の性質を見つけて証明しよう[円] ・1節 円周角の定理 ・2節 円周角の定理の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(2) ア(ア)、イ(ア) イ(イ)	6 3 2	11	
12	○6章 立体の見方をひろげよう[空間図形] ・1節 いろいろな立体 ・2節 立体の見方と調べ方 ・3節 立体の体積と表面積 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(2) ア(ア)、イ(ア) ア(ア)、イ(ア) ア(イ)、イ(イ)	3 9 5 2	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう[確率] ・1節 確率 ・2節 確率による説明 ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(2) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ) イ(イ)	6 2 2	7章 三平方の定理を活用しよう[三平方の定理] ・1節 三平方の定理 ・2節 三平方の定理の利用 ・単元末問題演習・単元テスト	B図形(3) ア(ア)、イ(ア) イ(イ)	4 8 2	12	
1	○7章 データを活用して判断しよう[データの分析と活用] ・1節 データの整理と分析 ・2節 データの活用 ・3節 ことからの起こりやすさ ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ア(ア)、イ(ア)	5 1 3 2	7章 データを比較して判断しよう[データの比較] ・1節 四分位範囲と箱ひげ図 ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(1) ア(ア)(イ)、イ(ア)	4 2	8章 集団全体の傾向を推測しよう[標本調査] ・1節 標本調査 ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(1) ア(ア)(イ)、イ(ア)(イ)	5 2	1	
2	○7章 データを活用して判断しよう[データの分析と活用] ・1節 データの整理と分析 ・2節 データの活用 ・3節 ことからの起こりやすさ ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(1) ア(ア)(イ) イ(ア) ア(ア)、イ(ア)	5 1 3 2	7章 データを比較して判断しよう[データの比較] ・1節 四分位範囲と箱ひげ図 ・単元末問題演習・単元テスト	Dデータの活用(1) ア(ア)(イ)、イ(ア)	4 2	予備時数		13	2	
3	予備時数		6	予備時数		2				3	
合計			140	合計			105	合計			140

# 理科 学習の手引き

## 1 理科で身に付けたい力とは

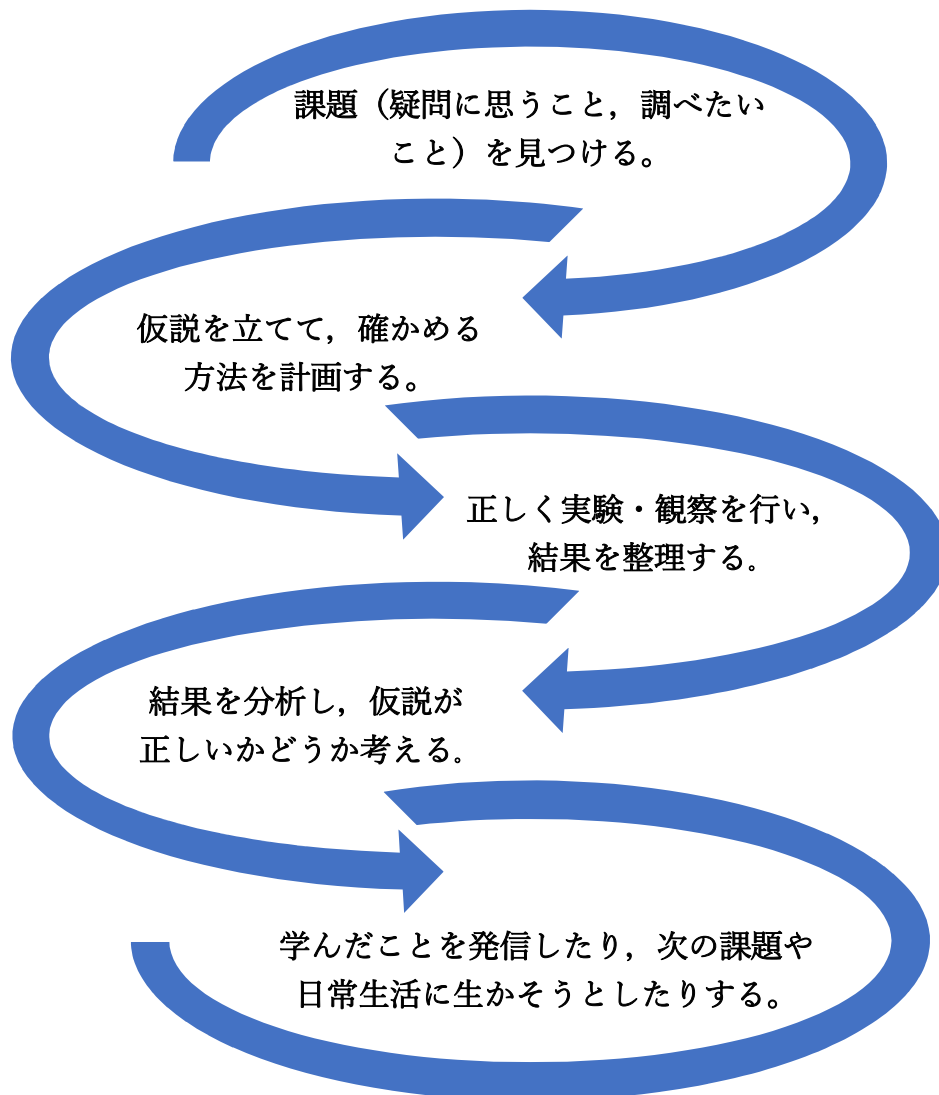
自然に起きているさまざまな現象に関わり、**見通しをもって**観察、実験を行うことなどを通して、  
ものごとを**科学的に探究**するために必要な力。

【見通しをもって】とは・・・??

実験・観察・話し合い…など、さまざまな活動を行うときに、それらは何のためにやっているのか、  
達成したいことは何なのか、といった「活動の目的」をしっかりと持つことです。

【科学的に探求する】とは・・・??

下の図のように、手順をふんで課題を解決していくことです。



## 2 評価について

○毎回の授業で、三つの観点について評価します。その積み重ねによって最終的な評定が付けられること  
になります。

### 【評価の観点と評価の方法】

	理科的な知識・技能 (何ができるか)	理科的な思考・判断・表現 (知識・技能をどう使うか)	理科に主体的に学習に取り組む態度 (よりよく学ぼうとしているか)
評 価 の 観 点	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析して、規則性を見いだしたり課題を解決したりしている。	自然の事物・現象に自ら進んで関わり、見通しを持ったり振り返ったりするなど、試行錯誤しながら粘り強く課題解決しようとしている。
評 価 の 方 法	・パフォーマンステスト ・章テスト等	・授業課題の記述内容 ・発表等の活動内容 ・章テスト等	・授業課題の記述内容 ・授業の「振り返り」の記述 ・提出物の状況 →スライドやワーク等 ・章テスト等

## 3 1年間で学ぶこと

・教科書は、学習する内容ごとに1～4の単元に分かれており、単元ごとに学習が進んでいきます。

1年間の詳しい学習の流れについては、次ページの表を確認しましょう。

・単元は、さらに小さなまとまりの「章」に分かれており、この「章」を終えるごとに「章テスト」を行います。

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年			
月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	月			
4 5 6 7 8 9 10	○単元1 いろいろな生物とその共通点 26時間	・第1章 生物の観察と分類のしかた	第2分野 内容(1)ア(ア)㉔④	6	・第1章 物質のなり立ち	第1分野 内容(4)ア(ア)㉔④	8	・第1章 水溶液とイオン	第1分野 内容(6)ア(ア)㉔	8 予備1	4		
		・第2章 植物の分類	第2分野 内容(1)ア(イ)㉔	9 予備1	○単元1 化学変化と原子・分子	・第2章 物質どうしの化学変化	第1分野 内容(4)ア(イ)㉔	7	・第2章 酸、アルカリとイオン	第1分野 内容(6)ア(ア)㉔②	9 予備1	5	
		・第3章 動物の分類	第2分野 内容(1)ア(イ)㉔	9	・第3章 酸素がかかわる化学変化	第1分野 内容(4)ア(イ)㉔	6 予備1	○単元1 30時間	・第3章 化学変化と電池	第1分野 内容(6)ア(イ)㉔④	9 予備1	6	
					・第4章 化学変化と物質の質量	第1分野 内容(4)ア(ウ)㉔④	6 予備1		・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1		
					・第5章 化学変化とその利用	第1分野 内容(4)ア(イ)㉔	4						
					・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1						
			・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1	・第1章 生物と細胞	第2分野 内容(3)ア(ア)㉔	8 予備1	○単元2 生命の連続性	・第1章 生物の成長と生殖	第2分野 内容(5)ア(ア)㉔④	9 予備1	7
			・第1章 身のまわりの物質とその性質	第1分野 内容(2)ア(ア)㉔	7 予備1	○単元2 生物のからだのつくりとはたらき	・第2章 植物のからだのつくりとはたらき	第2分野 内容(3)ア(イ)㉔	○単元3 運動とエネルギー 32時間	・第2章 遺伝の規則性と遺伝子	第2分野 内容(5)ア(イ)㉔	9	8
			・第2章 気体の性質	第1分野 内容(2)ア(ア)㉔	4 予備1	・第3章 動物のからだのつくりとはたらき	第2分野 内容(3)ア(ウ)㉔	11 予備1		・第3章 生物の多様性と進化	第2分野 内容(5)ア(ウ)㉔	6	9
			・第3章 水溶液の性質	第1分野 内容(2)ア(イ)㉔	6 予備1					・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1	
	・第4章 物質の姿と状態変化	第1分野 内容(2)ア(ウ)㉔④	6	・第4章 刺激と反応	第2分野 内容(3)ア(ウ)㉔	5	・第1章 物体の運動	第1分野 内容(5)ア(イ)㉔④	9 予備1	10			
	・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1				・第2章 力のはたらき方	第1分野 内容(5)ア(ア)㉔④	7 予備1				

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年							
	月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領		時数	月					
10 11 12	○単元3 身のまわりの現象 26時間	第1章 光の世界	第1分野 内容(1)ア(ア)㉔㉕	10 予備1	○単元3 天気とその変化 33時間	・単元末 学習内容の整理・確かめと応用	1	○単元3 運動とエネルギー 32時間	・第3章 エネルギーと仕事	第1分野 内容(5)ア(ウ)㉔㉕、(7)ア(ア)㉔	12 予備1	10 11 12					
		・第3章 音の世界	第1分野 内容(1)ア(ア)㉔	5		・第1章 気象の観測	第2分野 内容(4)ア(ア)㉔㉕、(イ)㉔		15	・単元末 学習内容の整理・確かめと応用	1						
		・第4章 力の世界	第1分野 内容(1)ア(イ)㉔	8 予備1		・第2章 雲のでき方と前線	第2分野 内容(4)ア(イ)㉔㉕		6 予備1	・第1章 地球の運動と天体の動き	第2分野 内容(6)ア(ア)㉔㉕		2 9 予備1				
		・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1		・第3章 大気の動きと日本の天気	第2分野 内容(4)ア(ウ)㉔㉕、(エ)㉔		9 予備1	・第2章 月と金星の見え方	第2分野 内容(6)ア(イ)㉔		6 予備1				
		・プロローグ	第2分野 内容(2)ア(ウ)㉔、(エ)㉔	2 6 予備1		・第1章 静電気と電流	第1分野 内容(5)ア(ア)㉔		6 予備1	・第3章 宇宙の広がり	第2分野 内容(6)ア(イ)㉔		5 予備1				
		・第1章 火をふく大地				・第2章 電流の性質	第1分野 内容(5)ア(ア)㉔㉕		14 予備1	・単元末 学習内容の整理・確かめと応用	1						
		○単元4 大地の変化 26時間	・第2章 動き続ける大地	第2分野 内容(2)ア(ウ)㉔、(エ)㉔		5 予備1	○単元4 電気の世界 36時間		・第3章 電流と磁界	第1分野 内容(5)イ(イ)㉔㉕	12 予備1		・第1章 自然のなかの生物	第2分野 内容(7)ア(ア)㉔	5 予備1	2	
		・第3章 地層から読みとる大地の変化	第2分野 内容(2)ア(ア)㉔、(イ)㉔	9 予備1		・第2章 自然環境の調査と保全	第2分野 内容(7)ア(ア)㉔			・第3章 科学技術と人間	第1分野 内容(7)ア(ア)㉔㉕		7				
		3		・単元末 学習内容の整理・確かめと応用			1		・単元末 学習内容の整理・確かめと応用		1		・地域とつながる	第2分野 内容(7)ア(ア)㉔	3	3	
													・終章 持続可能な社会をつくるために	第1分野 内容(7)ア(イ)㉔ 第2分野 内容(7)ア(イ)㉔	4		
		合計				105	合計				140		合計		140		

# 英語科 学習の手引

## 1 英語科で身に付けたい力とは

英語の知識や技能をもとに、目的・場面・状況に合わせてコミュニケーションする力

「英語の知識や技能」とは

知識 … どのような表現や単語を使うとよいか知っていること。

技能 … 知識をもとにしてできた自分の考えを、適切に伝え合えること。

「目的・場面・状況に合わせて」とは

何のためか。どこで、どのようなときか。相手はだれか等を考えること。

目的・場面・状況に合わせてコミュニケーションする力を培うために



## 2 1年間で学ぶこと

教科書は学習する内容ごとの単元（Unit）に分かれています。各単元の終わりに「単元テスト」を行います。そのほかに、教科書の内容に応じてパフォーマンステスト（ALTの先生との会話テストや、クラスでの発表、教科書の音読テスト…等）を行います。年間の学習計画を合わせてご覧ください。

### 3 評価について

#### (1) 評価の観点

次の3つの観点で評価し、それらをA<sup>+</sup>、A、B、C<sup>+</sup>、Cの5段階で評価します。

	I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、はっきりと話された文章等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について話される文章を聞いて、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的に英語で話されることを聞こうとしている。
読むこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について書かれた短い文章を読んで、必要な情報や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的に英語で書かれたことを読もうとしている。
話すこと「やりとり」	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合う技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。
話すこと「発表」	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話す技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話している。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。
書くこと	[知識] 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、またはそれらを正確に用いて書く技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、書いている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書こうとしている。

#### (2) 評価の方法

	I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
観察（コミュニケーションへの意欲・英語の使用状況・活動に取り組む姿勢、提出物など）	○	○	○
ワークシート	○	○	
小テスト 単元テスト	○	○	
パフォーマンステスト（スピーチ・会話・ディベートなど）	○	○	○
英作文	○	○	
振り返りシート			○





学年	学期	第1学年	第2学年	第3学年	学年						
時	月	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	月
1	4	Unit 0 Welcome to Junior High School	(1),(3)①ア	2	Unit 0 My Spring Vacation	(1),(2), (3) ①イウエオカ②	2	Unit 0 Three Interesting Facts about Languages	(1),(2),(3) ①イウエオカ ②	2	4
2		学び方コーナー①	(1)ウ	1				学び方コーナー①	(1)ウ	1	
3											
4											
5											
6											
7	5	Unit 1 New School, New Friends	(1),(2), (3) ①アイウエオ カ ②	8	Unit 1 A Trip to Singapore	(1),(2), (3) ①イウエオカ ②	10	Unit 1 Sports for Everyone	(1),(2),(3) ①イウエオカ ②	10	5
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16	6	Unit 2 Our New Teacher	(1),(2), (3) ①アイウエオ カ ②	8	Let's Talk 1	(1)ウ,(3)①エ ②	1	Let's Write 1	(1)ウ,(3)①ウカ	1	
17											
18											
19											
20											
21											
22	6	Grammar for Communication 1	(1)エ	2	Grammar for Communication 1	(1)エ	1	Let's Listen 1	(1)ア,(3)①イエオカ	1	
23											
24											
25											
26											
27											
28											
29											
30											
31											
32											
33											
34											
35	7	Unit 2 Our New Teacher	(1),(2), (3) ①アイウエオ カ ②	8	Unit 2 Food Travels around the World	(1),(2), (3) ①イウエオカ ②	10	Unit 2 Haiku in English	(1),(2),(3) ①イウエオカ ②	10	6
36											
37											
38											
39											
40											
41											
42											
43											
44											
45											
46											
47											
48											
49											
50											
51											
52											
53											
54											
55											
56											
57											
58											
59											
60											
61	8	Unit 3 Club Activities	(1),(2), (3) ①アイウエオ カ ②	8	Let's Talk 2	(1)ウ,(3)①エ ②	1	Grammar for Communication 1	(1)エ	2	
62											
63											
64											
65											
66											
67											
68											
69											
70											
71											
72											

学年	第1学年	第2学年	第3学年	学年											
時	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	○単元名 ・教材名	学習指導要領	時数	月					
73	Unit 7 Foreign Artists in Japan									11					
74	Let's Talk 2	(1)ウ,(3)①エ,②	1	Unit 5 Universal Design	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	10	Unit 5 A Legacy for Peace	(1),(2),(3) ①イウエオカ,②	10						
75	Let's Listen 1	(1)ア,(3)①イエ	1												
76	Let's Listen 1	(1)ア,(3)①イエ	1												
77	Grammar for Communication 5	(1)エ	1												
78															
79							Let's Write 3	(1)ウ,(3)①ウカ	1						
80							Grammar for Communication 3	(1)エ	2						
81	Unit 8 A Surprise Party	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	8	Let's Talk 3	(1)ウ,(3)①エ,②	1									
82				Let's Listen 5	(1)ア,(3)①イエオ	1									
83								Stage Activity 2 Discover Japan	(1)ウ,(2), (3)①イウエオカ	4					
84								Let's Listen 5	(1)ア,(3)①イエオカ	1					
85	Let's Write 1	(1)ウ,(3)①ウカ		1						12					
86	学び方コーナー④	(1)ア	1	Unit 6 Research Your Topic	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	10	Unit 6 Beyond Borders	(1),(2),(3) ①イウエオカ,②	10						
87	Grammar for Communication 6	(1)エ	1												
88															
89															
90															
91															
92	Unit 9 Think Globally, Act Locally	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	8	Let's Talk 4	(1)ウ,(3)①エ,②	1									
93				Grammar for Communication 5	(1)エ	2									
94				進度調整の時間		1									
95															
96															
97	Let's Talk 3	(1)ウ,(3)①エ,②	1				Let's Talk 3	(1)ウ,(3)①エ,②	1	1					
98	Let's Listen 2	(1)ア,(3)①イエ	1	Stage Activity 2 Research and Presentation	(1)ウ,(2), (3)①イウエオカ	4	Grammar for Communication 4	(1)エ	1						
99	Stage Activity 2 My Hero	(1)ウ,(2), (3)①イウエオカ	3	学び方コーナー③	(3)①エ	1	Let's Listen 6	(1)ア,(3)①イエオカ	1						
100	Let's Read 1 Let's Climb Mt. Fuji	(1)ウ,(2), (3)①ウ	2	Let's Read 2 A Glass of Milk	(1)ウ,(2), (3)①ウエ	4	Stage Activity 3 Let's Have a Mini Debate	(1)ウ,(2), (3)①ウエオ	4						
101				Let's Listen 6	(1)ア,(3)①イエオ	1	Let's Read 2 Power Your Future	(1)ウ,(2), (3)①ウエオ	4						
102															
103	Small Talk 2 Unit 10 Winter Vacation	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	8				Let's Read 3 A Graduation Gift from Steve Jobs	(1)ウ,(2), (3)①ウエオ	4						
104															
105															
106															
107															
108															
109															
110															
111	Let's Write 2	(1)ウ,(3)①ウカ	1	Unit 7 World Heritage Sites	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	10	学び方コーナー③	(3)①イウ	1						
112															
113															
114															
115															
116	Unit 11 This Year's Memories	(1),(2), (3)①イウエオカ, ②	8	Let's Talk 5	(1)ウ,(3)①エ,②	1	補助教材に取り組む時間		9	2					
117				Grammar for Communication 6	(1)エ	1									
118				Let's Listen 7	(1)ア,(3)①イエオ	1									
119															
120															
121	Let's Talk 4	(1)ウ,(3)①エ,②	1	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town	(1)ウ,(2), (3)①イウエオカ	4									
122	Let's Listen 3	(1)ア,(3)①イエ	1												
123	Grammar for Communication 7	(1)エ	2												
124															
125	Stage Activity 3 My Favorite Event This Year	(1)ウ,(2), (3)①イウエオカ	3	Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	(1)ウ,(2), (3)①ウエ	5									
126															
127	Learning LITERATURE in English	(3)①イウ	1												
128	Let's Read 2 City Lights	(1)ウ,(2), (3)①ウ	3												
129															
130															
131															
132															
133															
134															
135	進度調整の時間		9	進度調整の時間		12									
136															
137															
138															
139															
140															
		授業時数計	140		授業時数計	140		授業時数計	125						

# 音楽 学習の手引き

## 1、音楽の授業で身に付けたい力とは

歌唱、器楽、創作、鑑賞活動を通して、  
生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と**豊かに関わる力**

豊かに関わる力とは・・・

### 【音楽に触れ、表現する】

歌う、演奏する、聴くなど様々な音楽の形に触れてみる。

### 【周りのみんなと共有や協働活動する】

グループ活動によって、さまざまな考えや価値観を知る。

また、「他者を思いやる心や優しい気持ち」を育てる。

### 【音楽文化について理解を深める】

自分とは異なる文化的・歴史的背景を学び、多様性を理解する。

### 【音楽から様々なことを学び・感じる】

今まで知らなかった感情(美しい、綺麗、感動したなど)や  
音楽に出会い、感性を豊かにしていく。

## 2、評価について

毎回の授業で、三つの観点について評価します。

その積み重ねによって最終的な評価を付けられることになります。

	基本的な知識・技能 (音楽表現するために必要な技能)	思考・判断・表現 (音楽の良さを味わって聴く)	主体的に取り組む態度 (よりよく学ぼうとしている)
評価の観点	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現に必要な技能を身に付けている	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わい評価しながら聴いている	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、表現及び鑑賞の活動に粘り強く取り組もうとしている。
評価の方法	・授業の取り組み ・ワークシート ・実技テスト ・作品 ・振り返りカード	・授業の取り組み ・授業中の発言 ・振り返りカード ・ワークシート ・実技テスト	・授業の取り組み ・授業中の発言 ・振り返りカード ・ワークシート ・実技テスト

## 3 1年間で学ぶこと

・**表現活動**(歌うこと、楽器を演奏すること、音楽を作ること)と、**鑑賞活動**(音楽作品を聴いて気付いたことをまとめること)を通して、音楽を楽しむための基本的な力(表現する力や聴く力、聴き合う力、創造する力)を伸ばしていきます。

|

|

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年	
	月	○題材名 ・教材名	学習指導要領	時数	○題材名 ・教材名	学習指導要領	時数	○題材名 ・教材名	学習指導要領		時数
4		○思いをこめて合唱しよう ・「We'll Find The Way」 ・「その先へ」 ・My Voice!	A(1)7イ(7)ウ(7)	3	○曲想と曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ・「夢の世界を」 ・リズムゲーム、リズムアンサンブル	A(1)7イ(7)ウ(7)	2	○日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・「花の街」 ・My Voice! ・「早春賦」	A(1)7イ(7)ウ(7)	3	
		○曲の構成を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ・「主人は冷たい土の中に」 ・「Edelweiss」 ・合唱コンクール自由曲	A(1)7イ(7)ウ(7)	3	○パートの役割を理解して、歌唱表現を工夫しよう ・My Voice! ・合唱コンクール自由曲	A(1)7イ(7)ウ(イ)	2	○曲種に応じた発声を生かして、歌唱表現を工夫しよう ・「Let It Be」 ・合唱コンクール自由曲	A(1)7イ(イ)ウ(7)	2	
5				3	○言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう ・My Melody	A(3)7イ(7)ウ	2	○曲の構成を理解して、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう ・「風にのって」 ・Let's Create!	A(2)7イ(7)ウ(イ) (3)7イ(イ)ウ	6	
		○音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう ・「春」	B(1)7(7)イ(7)	2	○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう ・リコーダー LESSON2、3 ・「Edelweiss」 ・「千の風になって」	A(2)7イ(7)ウ(イ)	3				
6					○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ・「ファゴト短調」	B(1)7(7)イ(7)	3	○ポピュラー音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・ポピュラー音楽 ・ポピュラー音楽のジャンル ・ルールを守って音楽を楽しもう！ ・生活や社会の中の音楽	B(1)7(ウ)イ(イ)	2	
		○イメージと音楽との関わりを感じ取ろう ・「ジョーズのテーマ」 ・Let's Create!	A(3)7イ(イ)ウ B(1)7(7)イ(7)	4							
7					○曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・「夏の思い出」 ・「荒城の月」 ・「サンタ ルチア」	A(1)7イ(7)ウ(7)	3	○音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ・「フルタバ(モルダウ)」 ・社会を映し出す音楽 ・「ボレロ」 ・曲のよさをプレゼンしよう	B(1)7(7)イ(7)ウ(イ)	4	
		○曲想を感じ取って、器楽表現を工夫しよう ・「聖者の行進」 ・リコーダー LESSON1	A(2)7イ(7)ウ(イ)	4							
8					○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ・「魔王」	B(1)7(7)イ(7)	3	○全体の響きや各声部の役割を生かして、歌唱表現を工夫しよう ・「Amazing Grace」 ・「きみとともこ」 ・指揮をしてみよう！	A(1)7イ(7)ウ(イ)	3	
		○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ・「魔王」	B(1)7(7)イ(7)	3	○曲想と音楽の構造との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう ・「Joyful Joyful」 ・「メッセージ」 ・生活や社会の中の音楽	A(1)7イ(7)ウ(イ)	3				
9											
10											

学年 月	第1学年			第2学年			第3学年			学年 月	
	○題材名 ・教材名	学習指導要領	時数	○題材名 ・教材名	学習指導要領	時数	○題材名 ・教材名	学習指導要領	時数		
10	○音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう ・リズムゲーム、リズムアンサンブル、リズムチャレンジ ・My Melody	A(3)アイ(ア)ウ	3	○音の重なり方や反復、変化を理解して、創作表現を工夫しよう ・Let's Create!	A(3)アイ(イ)ウ	3	○音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう ・My Melody	A(3)アイ(ア)ウ	3	10	
11	○日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう ・日本の民謡 ・生活や社会の中の音楽 ・アジアの諸民族の音楽 ・「ソーラン節」	A(1)アイ(イ)ウ(ア) B(1)アイ(イ)ウ(イ)ウ(ウ)	6	○オペラに親しみ、その魅力を味わおう ・「アイーダ」から	B(1)アイ(ア)ウ(ア)	2	○日本の伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・尺八楽「黒鶴鈴墓」 ・沖縄の伝統芸能「組踊」に親しもう	B(1)アイ(イ)ウ(ウ)	3	11	
12	○日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ・「浜辺の歌」 ・「赤とんぼ」 ・歌い継ごう 日本の歌	A(1)アイ(ア)ウ	3	○文楽に親しみ、その魅力を味わおう ・文楽「新版歌祭文」から「野崎村の段」 ・義太夫節「野崎村の段」から	A(1)アイ(イ)ウ(ア) B(1)アイ(イ)ウ(イ)	4	○我が国の伝統的な歌謡、和楽器の音色や響きを生かして、表現を工夫しよう ・謡「敦盛」から ・タやけこやけ(尺八)	A(1)アイ(イ)ウ(ア) (2)アイ(イ)ウ(ア)	5	12	
1	○日本に古くから伝わる箏の良さを味わいながら、器楽表現を工夫しよう ・虫づくし ・姫松	A(2)アイ(ア)ウ(イ)	3	○日本の理土芸能や伝統音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・受け継ごう！ 郷土の祭りや芸能 ・天高く鳴り響け(太鼓)	A(2)アイ(イ)ウ(ア) B(1)アイ(イ)ウ(イ)	3	○世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・世界の諸民族の音楽 ・私たちが受け継ぐ郷土の祭りや芸能	B(1)アイ(イ)ウ(ウ)	2	1	
2	○日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう ・雅楽「平調 越天楽」 ・曲のよさをプレゼンしよう	B(1)アイ(ア)ウ(イ)ウ(ア)ウ(イ)	4	○世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ・世界の諸民族の音楽	B(1)アイ(イ)ウ(ウ)	2	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ・歌い継ごう 日本の歌 ・心通う合唱	A(1)アイ(ア)ウ(ア)ウ(イ)	2	2	
3	○曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう ・「Let's Search For Tomorrow」 ・心通う合唱	A(1)アイ(ア)ウ(ア)ウ(イ)	4	○仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ・歌い継ごう 日本の歌 ・心通う合唱	A(1)アイ(ア)ウ(ア)ウ(イ)	3				3	
合計			45	合計			35	合計			35

# 美術 学習の手引き

## 1 美術で身に付けたい力とは

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わるために必要な力

【表現および鑑賞の幅広い活動を通して】とは・・・??

表現とは、強く表したいことを心の中に思い描き、発想し構想を練り、生み出した主題を追求して表現することです。

鑑賞とは、自分の見方や感じ方を大切にしながら主体的に造形的なよさや美しさなどを感じ取ったり、作者の心情や表現の意図と工夫、美術の働きや美術文化について考えたりすることです。

【造形的な見方・考え方】とは・・・??

形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉えたり、全体に着目して造形的な特徴などからイメージを捉えたりすることです。造形的な視点を働かせることで、漠然と見ているだけでは気付かなかった身の回りの形や色彩などの働きに気付いたり、よさや美しさなどを感じ取ったりすることができるようになります。

【表現のイメージ】

① 選び、決める→②完成までの見通しを持つ→③試行（思考）錯誤→④完成

【鑑賞のイメージ】

① 作品への興味・関心→②気づき・感動・共感→③②の内容を言葉や文章で表現する

## 2 評価について

授業の中で、次の3つの観点について評価します。その積み重ねによって最終的な評定が付けられることとなります。

### 【評価の観点と評価の方法】

項目	美術的な知識・技能	美術的な思考・判断・表現	美術に主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培おうとしている。
評価方法	・授業中の取組 ・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞レポート・作品カード	・授業中の取組 ・作品 ・アイデアスケッチ ・制作過程での試行錯誤の様子（制作カード） ・作品カード	・授業中の取組 ・鑑賞カード・作品カード ・自己評価・振り返り ・レポート課題や提出物への取組状況

## 3 1年間で学ぶこと

- ・表現分野と鑑賞分野を学習します。表現分野は、絵画、デザイン、彫刻、工芸の作品を3年間の中で制作していきます。鑑賞分野は、作品制作のまとめ段階でお互いの作品を鑑賞する授業と、世界や日本の芸術を鑑賞する授業があります。
- ・単元テストは行いません。



学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年
月	○題材名	学習指導要領	時数	○題材名	学習指導要領	時数	○題材名	学習指導要領	時数	月
4	【オリエンテーション～美術との出会い】 ○アニメーションの背景画から 風景を見つめ直して ○中学校美術の世界へようこそ ○この教科書で学ぶみなさんへ		1	【オリエンテーション】 ・学びの実感と広がり ・多彩な表現に挑むのはなぜだろう ・この教科書で学ぶみなさんへ		1	【オリエンテーション】 ・学びの探求と未来 ・時代を超えて美を探求する思い ・学びの言葉 井浦新 ・この教科書で学ぶみなさんへ		1	4
				○心のイメージを形に ・色彩の特徴を深く知る(学びを支える資料) ・日本美術と世界の美術の歩み(学びを支える資料) ・思いを抽象表現や色で表す	A表現(1)ア(ア)2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	11	○あの日を忘れない ○社会に生きる美術の力	B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	1 1	
5	【オリエンテーション～絵や彫刻との出会い】 ○見つめると見えてくるもの ・鉛筆で描く/水彩で描く(学びを支える資料)	A表現(1)ア(ア)2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	5							5
	【オリエンテーション～鑑賞との出会い】 ○絵の中をよくみると	B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	1							
6	【オリエンテーション～デザインや工芸との出会い】 ○文字っておもしろい ・文字の基本(学びを支える資料) ・色彩の基本・仕組み(学びを支える資料) ・発想・構想の手立て(学びを支える資料) ・水彩の様々な技法(学びを支える資料)	A表現(1)イ(イ)2)イ(イ) B鑑賞(1)イ(イ) 【共通事項】(1)アイ	12							6
7										7
8				○構図に思いをのせて ・投影図・透視図 ・投影図・透視図光のとりえ・構図の取り方 ・クロムの使い方	A表現(1)ア(ア)2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	4				8
9	○屏風、美のしかけ ・折り曲げて味わう	B鑑賞(1)イ(イ) 【共通事項】(1)アイ	1							9
【オリエンテーション～発想・構想の手立て】 ・学びの言葉 松任谷由実 ・発想・構想の手立て(学びを支える資料)		1					○仏像に宿る心 ・祈りの造形を感じ取る ・仏像の種類/美術文化の継承(学びを支える資料)	B鑑賞(1)イ(イ) 【共通事項】(1)アイ	2	
10				○デザインで人生を豊かにする ・美術の力で課題を解決する ・暮らしに息づくパブリックアート(学びを支える資料)	B鑑賞(1)イ(イ) 【共通事項】(1)アイ	1				10

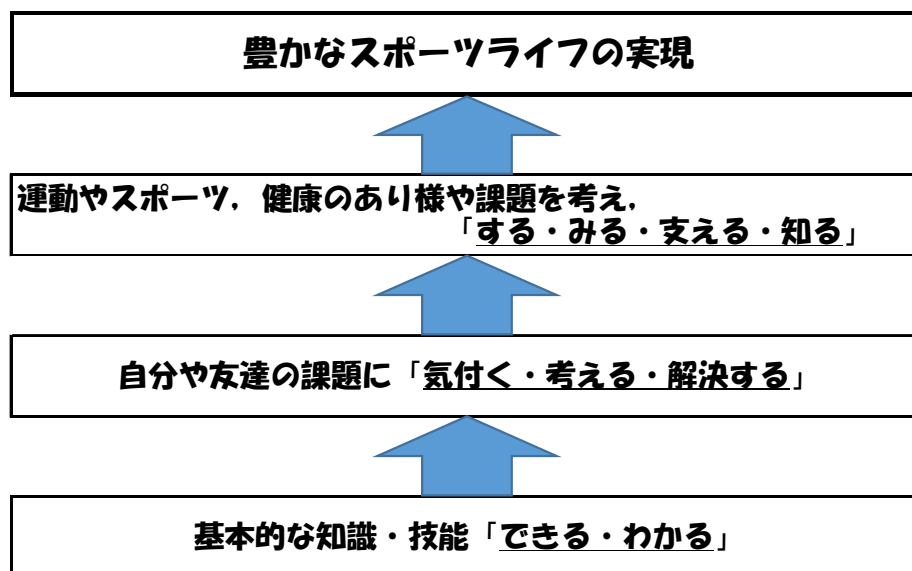
学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年					
	月	○題材名	学習指導要領	時数	○題材名	学習指導要領	時数	○題材名	学習指導要領		時数	月			
10	10	○印象に残るシンボルマーク(オリジナル家紋) ・発想・構想の手立て(学びを支える資料) ・木工の技法(学びを支える資料) ・色彩の基本・仕組み(学びを支える資料)	A表現(1)イ(イ)2)ア(イ) A表現(1)イ(ウ)2)ア(ア)(イ) B鑑賞(1)ア(イ) 【共通事項】(1)アイ	12	○その一枚が人を動かす ・伝えたい情報を伝えるゆるキャラデザイン ・色彩の特徴を深く知る(学びを支える資料)	A表現(1)イ(イ)2)ア(イ) B鑑賞(1)ア(イ) 【共通事項】(1)アイ	10	○イメージを追い求めて ・篆刻 ・石を彫る(学びを支える資料)	A表現(1)ア(ア)2)ア(ア) B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	13	10				
												11	○なんてこれが美術なの? ・学びの言葉 岡本太郎 ・岡本太郎“芸術はみんなのもの”(学びを支える資料)	B鑑賞(1)ア(ア) 【共通事項】(1)アイ	1
1	○自然の美しさから生まれた ・暮らしを豊かにする暮らし	B鑑賞(1)イ(ア)	1	○浮世絵はすごい ・北斎の大波(学びを支える資料)	B鑑賞(1)ア(ア) イ(イ)	1	3								
								合計	45	合計	35	合計	35		

# 保健体育科 学習の手引き

## 1. 保健体育で身に付けたい力とは

運動やスポーツ、健康について基本的な知識と技能を身に付け、自分と他者の課題を発見し、合理的に解決に向けて考え、生涯にわたって心身が健康で、豊かなスポーツライフを実現していくための力。

《イメージ》



## 2. 評価について

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や、生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"><li>授業中の様子や記録</li><li>授業課題の記述内容</li><li>実技テスト</li><li>確認テスト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>授業中の様子や記録</li><li>授業課題の記述内容</li><li>確認テスト</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>授業課題の記述内容</li><li>授業の振り返りの記述</li><li>提出物の状況</li><li>忘れ物の状況</li></ul>

## 3. 1年間で学ぶこと

- ・体育分野は、「A 体づくり運動」「B 器械運動」「C 陸上競技」「D 水泳」「E 球技」「F 武道」「G ダンス」「H 体育理論」の8分野、保健分野は「健康な生活と疾病の予防」「心身の機能の発達と心の健康」「傷害の防止」「健康と環境」4分野を学びます。これらは、さらに細かく分かれており、いくつかのまとまりごとに「確認テスト」を行います。

令和6年度仙台市立岩切中学校 保健体育科年間指導計画表(案)

学期		1学期																	2学期																	
時間割		17週																	18週																	
月		4			5			6			7			8			9			10			11			12		1		2		3				
実自週数		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
一 年 生	男女 共 修	1	陸上競技 (休テ・集団行動含む15): 共			水泳(10)/器械運動(9) 男女交互						体づくり(12) (運動会練習含む)						サッカー(8)/ バレー(8) :男女交代			柔道(6)・バスケ(6) :男女交代				ダンス(15)											
	2	保健(8)																										保健(8)								
	3																																			
二 年 生	男女 共 修	1	陸上競技 (休テ・集団行動含む15): 共			水泳(10)/器械運動(9) 男女交互						体づくり(12) (運動会練習含む)						ソフト(8)/ バレー(8) :男女交代			柔道(6)・バスケ(6) :男女交代				ダンス(15)											
	2	保健(8)																										保健(8)								
	3																																			
三 年 生	男女 共 修	1	陸上競技 (休テ・集団行動含む15): 共			水泳(10)/器械運動(9) 男女交互						体づくり(12) (運動会練習含む)						ソフト(4)・サッ カー(4)/バレー (8) :男女交代			柔道(4)・バスケ (4) :男女交代		ダンス(13)													
	2	保健(8)																								保健(8)										
	3																																			

\*天候等で予定が変更になることがある。

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年
月	○内容のまとまり ・単元名	学習指導要領	時数	○内容のまとまり ・単元名	学習指導要領	時数	○内容のまとまり ・単元名	学習指導要領	時数	月
4	○ 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	Aア Aイ	7	○ 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・体の動きを高める運動	Aア Aイ	7	○ 体づくり運動 ・体ほぐしの運動 ・実生活に生かす運動の計画	Aア Aイ	7	4
	○ 体育理論 運動やスポーツの多様性 ・運動やスポーツの必要性と楽しさ ・運動やスポーツへの多様な関わり方 ・運動やスポーツの多様な楽しみ方	H(1)(ア) H(1)(イ) H(1)(ウ)	3	○ 体育理論 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方 ・運動やスポーツの効果 ・運動やスポーツの学び方 ・運動やスポーツの安全な行い方	H(2)(ア) H(2)(イ) H(2)(ウ)	3	○ 体育理論 文化としてのスポーツの意義 ・現代社会におけるスポーツの文化的意義 ・国際的なスポーツ大会の役割 ・人々を結び付けるスポーツ	H(1)(ア) H(1)(イ) H(1)(ウ)	4	
5	★体力・運動能力調査		6	★体力・運動能力調査		6	★体力・運動能力調査		6	5
	○ 陸上競技 ・短距離走・リレー ・走り幅跳び	Cア Cイ	10	○ 陸上競技 ・ハードル走 ・走り高跳び	Cア Cイ	9	○ 陸上競技 ・短距離走・リレー・走り幅跳び・ハードル走・走り高跳び・長距離走の五つから二～三つ選択	Cアイ	10	
6	○ 〔保健分野〕健康な生活と疾病の予防① ・健康の成り立ちと疾病の発生要因 ・運動と健康 ・食生活と健康 ・休養・睡眠と健康 ・調和のとれた生活	(1)(ア) (1)(イ) (1)(イ) (1)(イ) (1)(イ)	6	○ 〔保健分野〕傷害の防止 ・傷害の発生要因 ・交通事故の発生要因 ・交通事故の危険予測と回避 ・犯罪被害の防止 ・自然災害による危険 ・自然災害による傷害の防止 ・共に生きる(発展) ・応急手当の意義と方法 ・心肺蘇生法	(3)(ア) (3)(イ) (3)(イ) (3)(イ) (3)(ウ) (3)(ウ) (3)(ウ) (3)(エ) (3)(エ)	10	○ 〔保健分野〕健康と環境 ・環境への適応能力 ・活動に適する環境 ・熱中症の予防(発展) ・飲料水の衛生的管理 ・室内の空気の衛生的管理 ・生活に伴う廃棄物の衛生的管理 ・放射線と健康(発展)	(4)(ア) (4)(ア) (4)(ア) (4)(イ) (4)(イ) (4)(ウ) (4)(イ)	9	6
	○ 水泳 ・クロール	Dア	10	○ 水泳 ・平泳ぎ	Dイ	10	○ 水泳 ・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの泳法から2～4種類選択	Dアイウエ	10	
7										7
8										8
9	○ 球技 ・ネット型:バレーボール	Eイ	10	○ 球技 ・ゴール型:サッカー	Eア	12	○ 球技 ・ベースボール型:ソフトボール	Eウ	12	9
10	・体の発育・発達 ・呼吸器・循環器の発育・発達 ・生殖機能の成熟	(2)(ア) (2)(ア) (2)(イ)	12	○ 〔保健分野〕健康な生活と疾病の予防② ・生活習慣病の起こり方 ・生活習慣病の予防	(1)(ウ) (1)(ウ) (1)(ウ)	8	○ 〔保健分野〕健康な生活と疾病の予防③ ・感染症の広がり方 ・感染症の予防	(1)(オ) (1)(オ)	10	10

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年
月	○内容のまとめり ・単元名	学習指導要領	時数	○内容のまとめり ・単元名	学習指導要領	時数	○内容のまとめり ・単元名	学習指導要領	時数	月
10	・異性の尊重と性情報への対処 ・心の発達 ・自己形成と心の健康 ・心と体の関わり ・欲求と心の健康 ・ストレスによる健康への影響 ・ストレスへの対処の方法	(2)(イ) (2)(ウ) (2)(ウ) (2)(エ) (2)(エ) (2)(エ) (2)(エ)		・がんの予防 ・喫煙の害と健康 ・飲酒の害と健康 ・薬物乱用の害と健康 ・薬物乱用の社会的な影響 ・喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処	(1)(エ) (1)(エ) (1)(エ) (1)(エ) (1)(エ)		・性感症の予防 ・エイズの予防 ・医薬品の利用 ・保健・医療機関の利用 ・健康を守る社会の取り組み ・保健の学習を振り返ろう	(1)(オ) (1)(オ) (1)(カ) (1)(カ) (1)(カ) (1)(カ)		10
11	○ 武道 ・柔道 ・剣道	Fア Fイ	7	○ 球技 ・ベースボール型：ソフトボール	Eウ	8	○ 球技 ・ゴール型：サッカー	Eア	13	11
12	○ 器械運動 ・マット運動	Bア	10	○ 器械運動 ・跳び箱運動	Bエ	10	○ 器械運動 ・マット運動、跳び箱運動	Bアイウエ	12	12
1	○ 球技 ・ゴール型：バスケットボール	Eア	12	○ 球技 ・ネット型：卓球	Eイ	10	○ ダンス ・創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスから選択	Gアイウ	12	1
2	○ ダンス ・創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスから選択	Gアイウ	12	○ ダンス ・創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスから選択	Gアイウ	12				2
3										3
			合計 105			合計 105			合計 105	

# 技術・家庭 学習の手引き

## 1 技術・家庭で身に付けたい力とは

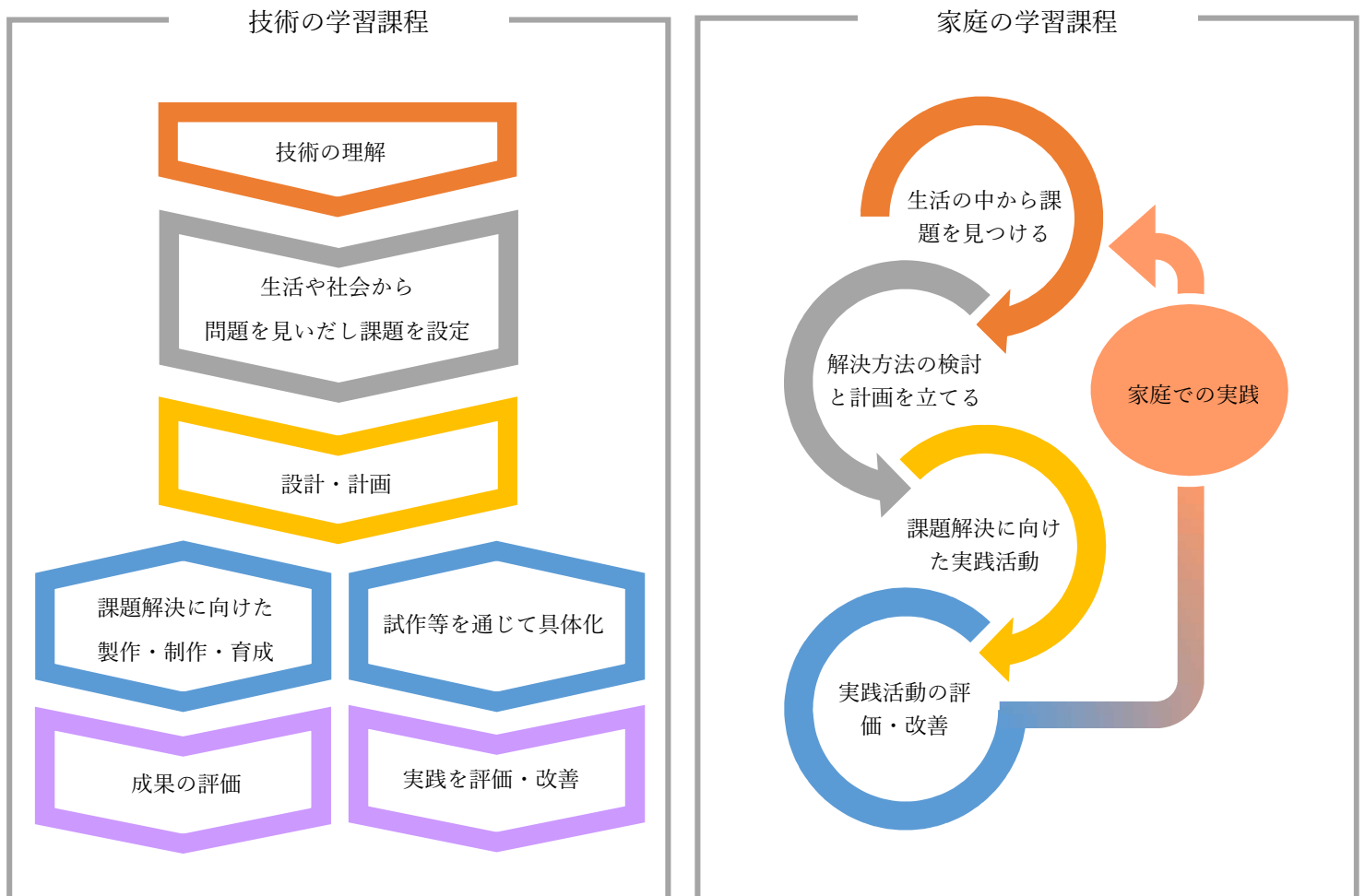
生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造するために必要な力。

### 【生活の営みに係る見方・考え方】とは・・・??

協力・協働，健康・快適・安全，生活文化の継承・創造，持続可能な社会の構築などの視点から生涯にわたって，自立し共に生きる生活を創造できるように，よりよい生活を営むために工夫することです。

### 【技術の見方・考え方】とは・・・??

自然科学を応用するだけでなく，社会からの要求や開発・利用時の安全性，開発・利用による環境負荷や経済的負担などに着目し，最適な解決策を考えることです。



## 2 評価について

授業の中で、次の3つの観点について評価します。その積み重ねによって最終的な評定が付けられることとなります。

### 【評価の観点と評価の方法】

項目	知識・技能 (何ができるか)	思考・判断・表現 (知識・技能をどう使うか)	主体的に学習に取り組む態度 (よりよく学ぼうとしているか)
評価の観点	<p>生活や社会で利用されている技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。</p> <p>家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。</p>	<p>生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、技術を工夫し創造しようとしている。</p> <p>家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業課題への記述内容</li> <li>・ 実習の記録や様子</li> <li>・ 単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業課題への記述内容</li> <li>・ 授業の振り返り</li> <li>・ 単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業課題への記述内容</li> <li>・ 授業の振り返りやまとめ</li> <li>・ レポート課題や提出物への取組状況</li> </ul>

## 3 3年間で学ぶこと

- ・ 教科書は技術分野と家庭分野に分かれています。共通していることは一冊の教科書を3年間使用することです。それぞれの学年でどの分野を学習するか、次のページの表で確認しましょう。
- ・ 1年間で学習する分野を小さなまとまりに分け、この小さなまとまりごとに単元テストを行います。



第1学年			
学年	月	○題材名	学習指導要領
4	4	○ 技術分野のガイダンス 生活や社会における技術の役割 ①技術の役割 ②技術の見方・考え方 ③技術と生活・産業 ④技術とエネルギー ⑤受け継がれ発展する技術	A~D
5	5	A 材料と加工の技術(27h) 1-1生活や社会と材料と加工の技術 ①生活や社会を支える材料と加工の技術 ②身の回りにおける材料と加工の技術	A(1)ア A(1)アイ
6	6	1-2材料を利用するための技術 ①さまざまな材料と加工の技術	A(1)ア
7	7	②木材の材料と加工の技術	A(1)ア
8	8	③金属の材料と加工の技術	A(1)ア
9	9	④プラスチックの材料と加工の技術	A(1)ア
10	10	⑤構造をしようふにする技術	A(1)アイ
11	11	⑥製図	A(2)アイ
12	12	2-1問題解決の手順 (実習例の製作を含む) ①問題解決の流れ	A(2)イ
1	1	②問題の発見と課題の設定	A(2)イ
		③設計	A(2)ア
		2-2製作のための技能(木材) (実習例の製作を含む) ①材料取りと部品加工	A(2)アイ
		②組立てと仕上げ	A(2)アイ
		3これからの材料と加工の技術 ①材料と加工の技術の学習をふり返ろう ②材料と加工の技術と私たちの未来	A(3)ア A(3)イ
		D 情報の技術(8h) 1-1社会や生活と情報の技術 ①生活や社会を支える情報の技術	D(1)ア
		②身の回りにおける情報の技術	D(1)イ
		1-4情報セキュリティと情報モラル ①情報セキュリティ	D(1)ア
		②情報モラル	D(1)アイ
		③知的財産の保護と活用	D(1)ア D(2)ア D(3)ア
		合計	35

第2学年			
学年	月	○題材名	学習指導要領
4	4	B 生物育成の技術(8h) 1-1生活や社会と生物育成の技術 ①生活や社会を支える生物育成の技術	B(1)ア
5	5	②身の回りにおける生物育成の技術	B(1)アイ
6	6	1-2さまざまな生物育成の技術 ①作物の栽培技術	B(2)ア
7	7	②動物の飼育技術	B(2)ア
8	8	③水産物の栽培技術	B(2)ア
9	9	④森林の育成技術	B(2)ア
10	10	2生物育成の技術による問題解決 (実習例の時間を含む) ①問題解決の流れ	B(2)イ
11	11	②生物育成の計画の立て方	B(2)イ
12	12	3これからの生物育成の技術 ①生物育成の技術の学習をふり返ろう ②生物育成の技術と私たちの未来	B(3)ア B(3)イ
1	1	D 情報の技術(8h) 2-1双方向性のあるコンテンツによる問題解決 (実習例の時間を含む) ①問題の発見と課題の設定	D(2)アイ
2	2	②設計	D(2)アイ
3	3	③製作	D(2)イ
4	4	④評価・改善	D(2)イ
5	5	C エネルギー変換の技術(15h) 1-1生活や社会とエネルギー変換の技術 ①生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	C(1)ア C(1)イ
6	6	②身の回りにおけるエネルギー変換の技術	C(1)イ
7	7	1-2エネルギー資源の利用 ①エネルギーの利用	C(1)ア
8	8	②燃料を利用した技術	C(1)ア
9	9	③発電と送電のしくみ	C(1)ア
10	10	④エネルギー変換効率と省エネルギー	C(1)ア
11	11	1-3電気の利用 ①電気エネルギーの特徴	C(1)ア
12	12	②光や熱に変換するしくみ	C(1)ア
1	1	③動力や音・信号に変換するしくみ	C(1)ア
2	2	④電気回路と回路図	C(1)ア
3	3	⑤電気機器の安全な利用	C(1)イ
4	4	⑥電気機器の保守点検	C(1)アイ
5	5	1-4運動の利用 ①力の伝達	C(1)ア
6	6	②動きを変化させるしくみ	C(1)ア
7	7	③力や運動を保存するしくみ	C(1)ア
8	8	④部品の固定と共通部品	C(1)ア
9	9	⑤機械の保守点検	C(1)イ
10	10	2エネルギー変換による問題解決 (実習例の時間を含む) ①問題の発見と課題の設定	C(2)ア
11	11	②設計	C(2)イ
12	12	③製作	C(2)イ
1	1	④評価・改善	C(2)アイ
2	2	D 情報の技術(5h) 1-2情報とコンピュータ ①コンピュータの構成	D(1)ア
3	3	②コンピュータの機能と装置	D(1)ア
4	4	③コンピュータを使って機器を自動で動かすしくみ	D(1)ア
5	5	④コンピュータによる処理のしくみ	D(1)アイ
6	6	⑤プログラムの構造と表現	D(1)イ
7	7	⑥情報のデジタル化	D(1)ア
8	8	⑦デジタル情報の特徴	D(1)ア
9	9	1-3情報の表現と伝達 ①使いやすさを工夫した情報の表現	D(1)ア
10	10	②メディアを利用した情報の表現	D(1)アイ
11	11	③情報通信ネットワークのしくみ	D(1)アイ
12	12	④Webのしくみと情報の表現	D(1)アイ
		合計	35

第3学年			
学年	月	○題材名	学習指導要領
4	4	D 情報の技術(8h) 2-2計画・制御による問題解決 ①問題の発見と課題の設定	D(3)アイ
5	5	②設計	D(3)イ
6	6	③製作	D(3)イ
7	7	④評価・改善	D(3)イ
8	8	⑤製作	D(3)イ
9	9	⑥評価・改善	D(3)イ
10	10	統合的な問題解決学習 ①問題の発見と課題の設定	C(2)イ D(2)イ
11	11	②設計	C(2)イ D(2)イ
12	12	③製作	C(2)イ D(2)イ
1	1	④評価・改善	C(2)イ D(2)イ
2	2	3 これからの情報技術 ①情報の技術の学習をふり返ろう ②情報の技術と私たちの未来	D(4)ア D(4)イ
		合計	17.5

学年		第1学年		
月	○題材名	学習指導要領	時数	
4	○ 家庭分野のガイダンス	A(1)ア	1	
	B 衣食住の生活 2-④ 補修や収納・保管(制服のたたみ方)		1	
5	A 家族・家庭生活 1 自分の成長と家族・家庭生活 ①今の自分とこれまで	A(1)ア, A(3)アイ	1	
	②わたしの生活と家族・家庭	A(1)ア	1	
	③家庭を支える社会	A(2)ア	1	
6	④中学生にととの家族	A(3)アイ	1	
	B 衣食住の生活 1 目的に応じた衣服の選択 ①衣服で伝わるメッセージ	B(4)アイ	1	
	②自分らしくコーディネート	B(4)アイ	1	
7	③つなげよう和服の文化	B(4)アイ	1	
	④上手な衣服の選択	B(4)アイ	1	
	2 日常着の手入れと保管 ①まかせて衣服の手入れ	B(4)アイ	1	
	②布の繊維の種類に応じた手入れ	B(4)アイ	1	
8	③めざそう洗濯名人	B(4)アイ	1	
	④補修や収納・保管	B(4)アイ	1	
9	3 生活を豊かにするものの製作 ○布による作品で生活を演出	B(4)アイ	1	
	○製作の基礎・基本	B(4)アイ	11	
10	まつり縫いの実技テスト		1	
	4 持続可能な衣生活 ○持続可能な衣生活をめざして	B(7) C(3)	2	
11	住生活 1 住まいのはたらきとこちよさ ① 住まいのはたらき	B(6)アイ	1	
	② 住まいの空間	B(6)アイ	1	
2	2 安全な住まいで安心な暮らし ①家庭内事故への備え	B(6)アイ	1	
	②災害への備え	B(6)アイ	2	
3	○ 持続可能な住生活 ・持続可能な住生活をめざして	B(6) C(2)	2	
	合計		35	

学年		第2学年		
月	○題材名	学習指導要領	時数	
4	B 衣食住の生活 食生活 ○ガイダンス 1 食事の役割と食習慣 ①食事の役割	B(1)ア	1	
	②健康によい食習慣	B(1)ア	1	
5	2 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①中学生の発達と必要な栄養	B(2)アイ	1	
	②栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	B(2)アイ	2	
6	③栄養バランスを目で見て判断	B(2)アイ	2	
	3 ささまざまな食品とその選択 ①生鮮食品の選択と保存	B(3)アイ	1	
7-8	②加工食品の選択	B(3)アイ	1	
	③食品の安全と情報	B(3)アイ	2	
9	4 日常食の調理 ①調理の計画	B(3)アイ	1	
	②おいしさと調理	B(3)アイ	1	
	③ますます好きになる肉の調理	B(3)アイ	2	
10	④こななおいしい魚の調理	B(3)アイ	2	
	⑤好きになる野菜の調理	B(3)アイ	2	
11	6 献立づくり ○1日分の献立	B(2)アイ	2	
	7 持続可能な食生活 ○持続可能な食生活をめざして	B(1)(2)(3) C(2)	1	
12	5 地域の食文化 ○地域の食文化 ○日本各地の郷土料理	B(3)アイ	1	
	○日本各地の郷土料理		1	
1	C 消費生活・環境 1 家庭生活と消費 ①消費生活のしくみ ②家庭生活における収入と支出	C(2)アイ C(1)アイ	1	
	2 購入・支払いと生活情報 ①いろいろな購入方法	C(1)アイ	1	
2	②購入前に知っておくこと-売買契約-	C(1)アイ	1	
	③いろいろな支払い方法	C(1)アイ	1	
3	④情報を活用した上手な購入	C(1)アイ	1	
	3 消費者被害と消費者の自立 ①なくならない消費者被害	C(1)アイ	1	
4	②消費者を支えるもの	C(1)アイ	1	
	③消費者の権利と責任	C(1)アイ	1	
5	4 持続可能な社会 ①消費行動が社会に与える影響	C(2)アイ	1	
	②消費行動が環境に与える影響	C(2)アイ	1	
6	③世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	C(2)アイ	1	
	合計		35	

学年		第3学年		
月	○題材名	学習指導要領	時数	
4	A 家族・家庭生活 ○ガイダンス 2 幼児の生活と家族 ①幼児のこころと今の自分	A(2)ア	1	
	②幼児の体の発達	A(2)ア	1	
5	③幼児の心の発達	A(2)ア	1	
	④発達にとつてのおどなの役割	A(2)アイ	1	
6	⑤遊びが必要なわけ	A(2)ア	1	
	⑥遊びを支える環境	A(2)アイ	1	
7	3 幼児とのかかわり ①ふれ合い体験の前に	A(2)アイ	1	
	②ドキドキワクワクふれ合い体験	A(2)アイ	1	
8	③ふれ合い体験は幼児からの贈り物	A(2)アイ	1	
	④子どもの成長と地域	A(2)アイ	1	
9	4 家庭生活と地域のかかわり ①家庭生活と地域での活動	A(3)アイ	1	
	②多様な人ひとが暮らす地域	A(3)アイ	1	
10	③地域に暮らす高齢者	A(3)アイ	1	
	④高齢者とのかかわり	A(3)アイ	1	
11	5 持続可能な家庭生活 ○持続可能な家庭生活をめざして	A(1)(2)(3)	1	
	○ 3年間をふり返って	ABC	0.5	
12	○ ミシンを使ったものの製作	B(4)アイ	3	
	合計		17.5	

○購入・支払いと生活情報 ・いろいろな購入方法	C(1)アイ	1
・購入前に知っておくこと	C(1)アイ	1
・いろいろな支払い方法	C(1)アイ	1
・情報を活用した上手な購入	C(1)アイ	1
○ 消費者被害と消費者の自立		
・なくなる消費者被害	C(1)アイ	1
・消費者を支えるもの	C(1)アイ	1
・消費者の権利と責任	C(1)アイ	1
○ 持続可能な社会		
・消費行動が社会に与える影響	C(2)アイ	1
・消費行動が環境に与える影響	C(2)アイ	1
・世界の国々と連帯した持続可能な生活の創造へ	C(2)アイ	1

# 道徳科 学習の手引

## 1 道徳科で身に付けたい力とは

- (1) 物事を広い視野から多面的・多角的に考える力。
- (2) 自立した個人としてよりよく生きるために、自ら考え続ける力。
- (3) 考えた内容を、主体的な判断に基づいて実践する力。

### 物事を広い視野から考えるために

「これまでに各教科の学習で学んだ内容」や「普段の生活の中で育む人や社会とのつながり」が、考える土台となります。道徳の時間だけでなく、日常の様々な経験や学習が多面的・多角的に考えることにつながります。

### 自立した個人として

教材を通して考える内容を他人事にせず、自分自身の問題として捉えることで、学習が深まります。

### 自ら考え続ける

道徳科の授業では、(時に対立がある場合を含めて,)自分とは異なる多様な考え方に会うことができると思います。また、答えが一つではなく、簡単には解決できない課題に向き合います。そのような課題に向き合うことで、学習が深まります。

### 主体的な判断に基づいて実践する

学習を通して生まれた「～と思った。～したい。」を、実際の行動に現すことが最終目標です。その行動はすぐに現れるかもしれないし、数年後に現れるかもしれません。道徳科の時間に考えたことが、自分自身や周りの人、社会をより良くするための行動につながることを期待しています。

## 2 1年間で学習すること

次の4つの内容について学習します。

- (1) 主として自分自身に関すること。
- (2) 主として人との関わりに関すること。
- (3) 主として集団や社会との関わりに関すること。
- (4) 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること。

## 3 評価

道徳の評価は数字ではなく文章で行います。道徳の授業の時間の中で、生徒一人一人がいかにか成長したかや変容したかを評価します。特に、いろいろな面から物事を見たり、気づいたりすることができるようになったか、自分自身のこととして考えを深めているかを重視します。

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年
月	教材名	内容項目	時数	教材名	内容項目	時数	教材名	内容項目	時数	月
4	【あいさつを交わして】 1 朝市の「おはようございます」	B(7)礼儀	1	【良好な関係を目指して】 1 あいさつ	B(7)礼儀	1	【言葉にそえて】 1 言葉おしめ	B(7)礼儀	1	4
	【義務について考えよう】 2 選手に選ばれて	C(10)遵法精神、公德心	1	【よりよい社会を目指して】 2 住みよい社会に	C(12)社会参画、公共の精神	1	【働くことの喜びとは】 2 たんぽほ作業所	C(13)勤労	1	
	【自分との付き合い方を考えよう】 3 自分の性格が大嫌い！	A(3)向上心、個性の伸長	1	【歩調を合わせて】 3 遠足で学んだこと	B(9)相互理解、寛容	1	【いじめのない世界へ】 3-1 無実の罪	C(11)公正、公平、社会正義	1	
5	【いじめのない世界へ】 4-1 いじめに当たるのはどれだろう	B(9)相互理解、寛容	1	【いじめのない世界へ】 4-1 私のせいじゃない ・みとめあう心(参考資料)3「いじめはゆるさない」	C(11)公正、公平、社会正義	1	【いじめのない世界へ】 3-2 ある日の午後から	A(1)自主、自律、自由と責任	1	5
	【いじめのない世界へ】 4-2 傍観者でいいのか	A(1)自主、自律、自由と責任	1	【いじめのない世界へ】 4-2 あの子のランドセル	A(1)自主、自律、自由と責任	1	【いじめのない世界へ】 3-3 いじめから目をそむけない	A(1)自主、自律、自由と責任 D(22)よりよく生きる喜び	1	
	【いじめのない世界へ】 4-3 ふたつの心	A(1)自主、自律、自由と責任 B(8)友情、信頼	1	【いじめのない世界へ】 4-3 「いじめ」について、あなたは思う？	A(1)自主、自律、自由と責任 B(9)相互理解、寛容	1	【周りの人に支えられて】 4 増生の宿	B(6)思いやり、感謝	1	
6	【安全な生活のために】 5-1 山に来る資格がない	A(2)節度、節制	1	【本当の友情とは】 5 みんなでとんだ！	B(8)友情、信頼	1	【信念をつらぬいて生きる】 5 背番号15が歩んだ道—黒田博樹	D(22)よりよく生きる喜び	1	6
	5-2 もし、あときにもどれるのなら	A(2)節度、節制	1	【「今」を生きる私のために】 6 私は十四歳	A(3)向上心、個性の伸長	1	【家族の支えがあるから……】 6 背筋をのばして	C(14)家族愛、家庭生活の充実	1	
	【友達とともに】 6 班での出来事 ・みとめあう心(参考資料)「生き生きと自分らしく生きる」	B(8)友情、信頼	1	【思いを形に】 7 こめぬね、おばあちゃん	C(14)家族愛、家庭生活の充実	1	【見方を変えれば】 7 ほくにもこんな「よいところ」がある	A(3)向上心、個性の伸長	1	
7	【働くてどんなこと？】 7 新しいフライド	C(13)勤労	1	【「和食」の良さって何だろう】 8 心でいただく伝統の味	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1	【郷土に息づく心につれて】 8 鳥鳴の心を伝えたい	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1	7
	【ボランティア活動に参加して】 8 乗寿号に乗って	C(12)社会参画、公共の精神	1	【支え合いの中で】 9 壺	B(6)思いやり、感謝	1	【先人の思いとともに】 9 花火と灯ろう流し	C(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1	
	【ふるさとのために】 9 ほくのふるさと	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1	【郷土の魅力にふれて】 10 祭りの夜	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1	【日々を見つめて】 10 早朝ドリブル	A(2)節度、節制	1	
8	【いのちを考える】 10-1 あなたはひかり	D(19)生命の尊さ	1	【いのちを考える】 11-1 奇跡の一週間	D(19)生命の尊さ	1	【神秘の世界へ】 11 ハッチを開けて、知らない世界へ	D(21)感動、畏敬の念	1	8
	【いのちを考える】 10-2 いのちって何だろう ・みとめあう心(参考資料)2「かけがえのない生命」	D(19)生命の尊さ	1	【いのちを考える】 11-2 妹に	D(19)生命の尊さ	1	【いのちを考える】 12-1 生まれてきてくれて、ありがとう—助産師からのメッセージ	D(19)生命の尊さ	1	
	【いのちを考える】 10-3 決断！ 骨髄バンク移植第一号	D(19)生命の尊さ	1	【いのちを考える】 11-3 三つのいのちについて考える	D(19)生命の尊さ	1	【いのちを考える】 12-2 くちびるに歌を持って	D(19)生命の尊さ	1	
9	【心に郷土を刻もう】 11 郷土を彫る	C(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	1	【よりよい社会のために】 12 宝塚方面行き—西宮北口駅	C(10)遵法精神、公德心	1	【いのちを考える】 12-3 人間の命とは—人間の命の尊さ・大切さを考える	D(19)生命の尊さ	1	9
	【誰もが気持ちよく過ごせる社会を目指して】 12 ごみ箱をもっと増やして	C(10)遵法精神、公德心	1	【気持ちを整えて】 13-1 白ご飯を目指して—萩野公介	A(2)節度、節制	1	【自分の生活を見直して】 13 スマホに夢中！	A(2)節度、節制	1	
10										10

学年	第1学年			第2学年			第3学年			学年
月	教材名	内容項目	時数	教材名	内容項目	時数	教材名	内容項目	時数	月
10	【よりよいクラス活動を目指して】 13 全校一を目指して	C(15)よりよい学校生活・集団生活の充実	1	【気持ちを整えて】 13-2 不安な気持ちを整えてみよう	A(2) 節度、節制	1	【寄りそう中で】 1 4 加山さんの願い	C(12) 社会参画、公共の精神	1	10
	【いきいきとかがやいて】 14 「看護する」仕事	C(13) 勤労	1	【情報モラルと友情】 14 ゴール ・みとめあう心(参考資料) 5 「考えようネットの危険性」	B(8) 友情、信頼	1	【将来の自分を見つめて】 1 5 好きな仕事か安定かなやんでいる	C(13) 勤労	1	
11	【その人が本当に望んでいること】 15-1 その人が本当に望んでいること	B(6) 思いやり、感謝	1	【誇りに胸に】 15 四十七年に感謝をこめて	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	1	【次世代のにない手として】 1 6-1 缶コーヒー	C(10) 遵法精神、公德心	1	11
	【その人が本当に望んでいること】 15-2 思いやりの日々 ・防災副読本(参考資料) 2章①「ともに育つ」	B(6) 思いやり、感謝	1	【おらかな気持ちで】 16 「注文をまちがえる料理店」	B(9) 相互理解、寛容	1	【次世代のにない手として】 1 6-2 缶コーヒーをめぐるやりとりの場面をやってみよう	C(10) 遵法精神、公德心	1	
12	【家族の思いにふれて】 16 靴	C(14) 家族愛、家庭生活の充実	1	【垣根をこえて】 17 六千人の命のピザ	C(18) 国際理解、国際貢献	1	【情報モラルと友情】 1 7 合格通知 ・みとめあう心(参考資料) 6 「生き生きと自分らしく生きる」	B(8) 友情、信頼	1	12
	【クラスの生活をよくするために】 1 7-1 席替え	C(11) 公正、公平、社会正義	1	【自然環境に優しく】 18 冬の使者「マガン」	D(20) 自然愛護	1	【恩恵に感謝して】 1 8 よみがえれ、日本海！	D(20) 自然愛護	1	
1	【クラスの生活をよくするために】 1 7-2 くじ引きの後の場面をやってみよう	C(11) 公正、公平、社会正義	1	【互いに支え合う社会】 19 今度は私の番だ	C(12) 社会参画、公共の精神	1	【差別や偏見をなくすために】 1 9 伝えたいことがある ・みとめあう心(参考資料) 7 「障害を理解しともに生きる」	C(11) 公正、公平、社会正義	1	1
	【心の弱さを乗り越えるために】 1 8 銀色のシャープペンシル	D(22) よりよく生きる喜び	1	【正義を追い求めて】 20 渡良瀬川の猛毒	C(11) 公正、公平、社会正義	5	【伝統を創るもの】 1 8 受けつがれる思い	C(15)よりよい学校生活、集団生活の充実	1	
2	【挑戦し続けること】 1 9 風を感じて―村上清加のチャレンジ	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志	1	【敬意を持って自然と接する】 21 夜は人間以外のもの時間	D(21) 感動、畏敬の念	1	【より高い目標を目指して】 2 1 高く遠い夢	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志	1	2
	【新しいものを生み出すときに】 2 0 「どうせ無理」という言葉に負けない	A(5) 真理の探究、創造	1	【自分を信じて生きるとは……】 22-1 自分を信じて生きるとは……	D(22) よりよく生きる喜び	1	【心から信じ合える友を】 2 2 ライバル同士の友情―スピードスケート 小平奈緒と李相花	B(8) 友情、信頼	1	
3	【情報モラルと友情】 2 1 短文投稿サイトに友達への悪口を書くこと	B(8) 友情、信頼	1	【自分を信じて生きるとは……】 22-2 本当の私 ・防災副読本(参考資料) 2章②「約束」	D(22) よりよく生きる喜び	1	【価値をめぐって】 2 3-1 しあわせ	B(9) 相互理解、寛容	1	3
	【世界の人々をつなげる】 2 2 山岳民族の文化を守る	C(18) 国際理解、国際貢献	1	【勤労から得られるものとは】 23-1 我、ここに生きる	C(13) 勤労	1	【価値をめぐって】 2 3-2 おたがいの「ちがいを認め合おう	B(9) 相互理解、寛容	1	
4	【公共の精神とは】 2 3 本が泣いています	C(12) 社会参画、公共の精神	1	【勤労から得られるものとは】 23-2 「十年後の自分」から「現在の自分」にメッセージを伝えよう ・防災副読本(参考資料) 2章③「花と緑で人々に笑顔を」	C(13) 勤労	1	【弱さと向き合って】 2 4 足袋の季節	D(22) よりよく生きる喜び	1	4
	【自然の力と向き合って】 2 4 火の鳥	D(21) 感動、畏敬の念	1	【あきらめない気持ちで】 24 左手でつくんだ音楽	A(4) 希望と勇気、克己と強い意志	1	【その子の世界、私の世界】 2 5-1 その子の世界、私の世界	C(18) 国際理解、国際貢献	1	
5	【人の気持ちが分かる人間を目指して】 2 5 落語が教えてくれること	B(9) 相互理解、寛容	1	【伝統文化を継承し発展させていくために】 25 普通バフォーマンスの挑戦	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1	【その子の世界、私の世界】 2 5-2 そのこ	C(18) 国際理解、国際貢献	1	5
	【生きることのすばらしさを感じて】 2 6 花に寄せて	D(22) よりよく生きる喜び	1	【真実を求め続けて】 26 赤土の中の真実	A(5) 真理の探究、創造	1	【新しいものを生み出すには】 2 6 日本から世界へ、そして宇宙へ―インスタントラーメンの誕生	A(5) 真理の探究、創造	1	
6	【自然とのつながりを考えよう】 2 7 桜に集う人の思い	D(20) 自然愛護	1	【気持ちをこめて】 27 心に寄りそう	B(6) 思いやり、感謝	1	【人っていいなあ―思いやりの連鎖】 2 7 一冊の漫画雑誌 ・防災副読本(参考資料) 1章④「一歩一歩力強く 語り部として」	B(6) 思いやり、感謝	1	6
	【日本の伝統と文化にふれて】 2 8 古都の雅、菓子的心	C(17) 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	1	【正しい判断とは】 28 「いいね」のために？	C(10) 遵法精神、公德心	1	【自ら社会参画を】 2 8 社会からの無言の賞賛を感じる感性	C(12) 社会参画、公共の精神	1	
	合計		35		合計	35	評価と予備		35	